

流通経済大学

---

# 履修要綱

---

スポーツ健康科学部

(2018入学生用)



# 目 次

## 教育方針

### 教育課程表

#### スポーツ健康科学科 教育課程表

1. 基本科目 .....	8
2. 外国語科目 .....	8
3. 教養科目 .....	10
4. キャリア科目 .....	11
5. 専門科目 .....	12
6. 自由科目 .....	14
卒業に必要な単位数 .....	16

#### スポーツコミュニケーション学科 教育課程表

1. 基本科目 .....	17
2. 外国語科目 .....	17
3. 教養科目 .....	18
4. キャリア科目 .....	19
5. 専門科目 .....	20
6. 資格基礎科目 .....	23
7. 資格発展科目 .....	24
卒業に必要な単位数 .....	25

## カリキュラムマップ

一般教養科目カリキュラムマップ .....	29
キャリア科目カリキュラムマップ .....	30
スポーツ健康科学科カリキュラムマップ .....	32
スポーツコミュニケーション学科カリキュラムマップ .....	34

## 履修の手引

1. セメスター制 .....	37
2. 単位制 .....	37
3. 最高履修単位数 .....	37
4. 3学年進級に必要な単位数 .....	37
5. 卒業 .....	38
6. 科目の履修 .....	38
7. 単位の修得 .....	39
8. 休講と補講 .....	40

9. 出席調査 .....	40
10. 災害時の授業 .....	40
11. 試験 .....	40
12. 不正行為 .....	41
13. 成績評価 .....	42
14. G P A .....	42
15. 他キャンパス受講 .....	43
16. キャンパス変更 .....	43
17. 演習の履修 .....	43
18. 単位の認定 .....	44
19. 「コーチング」科目 .....	49
20. 資格の取得 .....	49
21. 履修モデル .....	56

# 教育方針



## スポーツ健康科学部の教育方針

スポーツ健康科学部では、スポーツと健康の領域に関して、人間力と生命の尊厳を柱に多様な経験と専門的知識をもって諸問題を積極的に解決できる人材の養成を目的とする。

(流通経済大学・学則・第4条の2)

## スポーツ健康科学科の教育方針

### 教育目的（流通経済大学・学則・第4条の2）

スポーツ健康科学科では、スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成を目的とする。

### ディプロマポリシー（学位授与の方針） Diploma Policy（略称：DP）

スポーツ健康科学科は、学部の教育目的の下、「スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や技能、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与する。

1. 豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけるとともに、生命教育を中心としたスポーツ健康科学の学問内容および方法を理解している。（知識）
2. 自ら設定した課題について、スポーツ健康科学の学問領域の知識を用いて考察し、自分の考えを口頭表現、文章表現や身体表現によつて的確に伝えることができる。（技能）
3. スポーツ健康科学の知を実践の力へと高め、地域社会および国際社会のニーズにこたえることができる。（態度）

### カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針） Curriculum Policy（略称：CP）

スポーツ健康科学科では、建学の理念に基づく教育理念に則り、「スポーツの競技力向上、青少年から高齢者にいたる健康の維持・増進活動、学校教育や社会教育の推進に寄与できる人材の養成」を目標にカリキュラムを構成している。

今日の社会事象を鑑みると、スポーツを専門に学んだ学生が社会において活躍する為には、学問を横断的に学ぶ必要がある。従つて、特にコースという縛りを設けず、「専門基礎科目」と「専門発展科目」の科目群で、幅広い知識の修得を目指す。具体的な開講科目は次の通りである。

1. 上記で示した人材育成を図る為には、「生命の尊厳」と「人間力」を持った人材の育成を特に重視し、必修科目においてこれらの力を創造していく。またコミュニケーション能力および課題発見・解決能力を育成するため、1年次から4年次まで演習科目を配置する。
2. 国際化社会において必須となる外国語によるコミュニケーション能力を育成する科目を配置する。
3. 生涯学習のための基礎的知識と、自己実現に向けた能動的な姿勢を育成するキャリア関連科目を配置する。
4. 人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める教養科目を配置する。



5. 専門基礎科目では、今日、スポーツ科学を構成している学問を幅広く修得させる。
6. 専門発展科目では、発展的かつより専門性を持った科目でカリキュラムを構成する。
7. スポーツの競技力向上を図る科目を配置する。

## 人材養成と卒業後の進路

スポーツ健康科学科では、概ね以下の人材養成と卒業後の進路を想定している。

1. 競技スポーツの競技力向上を図るために、スポーツ選手の身体的コンディションを整え、試合に向けてメンタル面からもサポートでき、そして、相手選手やチームの戦術等を分析することで、選手やチームを勝利に導くことのできる指導者を養成する。卒業後の進路には、プロスポーツの指導者、地域社会におけるスポーツクラブの指導者、社会人スポーツ（企業スポーツ）の指導者が挙げられる。
2. 今日の少子高齢社会においては、高齢者の健康づくりができるスポーツを実践することが大いに求められているとともに、疾病、障害を防ぐ予防的なスポーツ実践と若年齢期からのライフスタイルに合わせたスポーツ実践が重要となっている。さらに、運動不足病を解消するためのスポーツの処方が必要となっている。そこで、様々な危険因子をもつ熟年者や運動不足者に対し、情報技術を応用し、個々人に合った適切なトレーニングプログラムを提供することのできる人材を養成する。また、今後、高齢者のスポーツ事故が増大すると予想されることから、スポーツ現場における事故や傷害に対し、迅速かつ適切に対応し、責任ある行動をとることのできる人材を養成する。卒業後の進路には、高齢者に対して適切な運動プログラムを提供するトレーナー、スポーツ・イベント等における救急員、スポーツクラブ及び公共スポーツ施設における運動実践指導者が挙げられる。
3. 生涯学習時代におけるスポーツ事象を「する・みる・ささえる」といった概念から捉えることによって、これまでのスポーツ環境をより充実したものにし、青少年から高齢者にいたるまでの適切な健康の維持・増進を図るとともに、それを経済活動の一領域と捉えることによって新しい分野を切り開きつつ、産業界に分け入っていくことのできる社会人を養成する。卒業後の進路には、地方自治体のスポーツ政策立案者及び運営管理者（公務員）、スポーツ団体職員、スポーツメディア関係従事者、スポーツ関係起業者・実業家が挙げられる。
4. 今日、学校教育における学力低下や子どもの問題、教員の指導力の低下や社会におけるスポーツの問題を解決するためには、学校教育や社会教育における教授方法について深く研究するとともに実際の指導力を持った人材の養成が必要不可欠である。そのため、専門的知識と深い洞察力をもって指導できる教育者及び指導者を養成する。卒業後の進路には、学校教育における体育教師、スポーツクラブ及び公共スポーツ施設における指導者が挙げられる。

## スポーツコミュニケーション学科の教育方針

### 教育目的（流通経済大学・学則・第4条の2）

スポーツコミュニケーション学科では、スポーツをする・みる・ささえる人材のみでなく、広く社会一般においてスポーツから得た高度なコミュニケーション能力を活用できる人材の養成を目的とする。

### ディプロマポリシー（学位授与の方針） Diploma Policy（略称：DP）

スポーツコミュニケーション学科は、学部の教育目的の下、「スポーツをする・みる・ささえる人材のみでなく、広く社会一般においてスポーツから得た高度なコミュニケーション能力を活用できる人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（スポーツ健康科学）の学位を授与する。

1. スポーツ実践において必要となるコミュニケーション能力に関する知識・技能を身につけている
2. スポーツを通じて学習したコミュニケーション能力をはじめとする社会的能力を、広く社会で通用する汎用的能力へ転換できる
3. 「スポーツの力」を理解し、積極的にそれを社会貢献のために活用できる

### カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針） Curriculum Policy（略称：CP）

スポーツコミュニケーション学科では、前述した「ディプロマポリシー」等を踏まえて、以下の「カリキュラムポリシー」に則り、科目を区分、構成している。

1. 学部の基盤となるスポーツ健康科学の基礎を学修するために、学部必修科目、学部基礎科目を配置する。
2. 学科の基盤となるスポーツコミュニケーションの基礎を学修するために、学科必修科目と学科基礎科目を配置する。
3. スポーツに関連したコミュニケーションを学修するために、3つの専門領域（マネジメント領域、情報・メディア領域、コーチング領域）を配置する。
4. 学科必修科目や専門発展科目では、課題発見・解決能力、論理的思考力や多様な観点から考察する能力を育むために、演習や実習を重視し、実践を通して体系的に学修できるように年次配当をする。
5. 幅広い教養と豊かな人間性を涵養し、総合的な表現力を培うために、外国語科目、キャリア科目、教養基礎科目を配置する。

6. アドベンチャー精神とフォロワーシップ精神を持った人材を養成するために、体育・スポーツ学と「人と人・組織・社会との関係」を中心としたコミュニケーション研究を関連付けて学修できるように、ゼミや学科基礎科目を配置する。

## 人材育成と卒業後の進路

スポーツコミュニケーション学科では学生各自の興味・関心、将来の生活設計に応じて「マネジメント領域」「情報・メディア領域」「コーチング領域」という3領域から計画的に履修するために履修モデルを提示している（p.42「履修モデル」参照）。履修モデルでは、「卒業後の進路」として、想定される以下の4つのカテゴリーから、14の進路先を具体化し、そのために必要と考えるモデルを提示している。

1. 幅広い職種的一般企業、的確な連携行動が求められる教員、消防士、警察官、自衛官等
2. 競技スポーツから地域におけるスポーツまでをサポートするスタッフ（コーチ・指導者、広報、チームアナリスト、運営事務等）
3. スポーツ関連イベントの企画・運営（イベント会社スタッフ等）、及びスポーツメディア関連（放送局、新聞記者等）やスポーツ用品販売等
4. 国際的なスポーツの発展・普及・支援活動（国際競技スポーツ、国際開発協力等）



# 教育課程表



## 教育課程表の見方

教育課程表には、各学科で設定されている全ての授業科目、履修学年・学期、必要単位数等の一覧が掲載されています。科目選択や卒業要件なども記載されていますので、「卒業に必要な単位数」および別紙「カリキュラムマップ」とともによく読んで、科目を履修してください。

教育課程表は学科、入学年度によって異なりますので、自分の所属する学科、入学年度に該当する教育課程表を参照してください。また、外国人留学生は、外国人留学生を対象とした説明もよく読んでください。

科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目などに分類されます。

- 1) 必修科目とは、定められた配当年次において必ず履修しなければならない授業科目です。
- 2) 選択必修科目は指定された単位数を複数の授業科目の中から選択して、履修する授業科目のことです。
- 3) 選択科目は自由に選択して履修できる授業科目です。単位数に関する規定はありません。
- 4) 自由科目は成績表には記載されますが、卒業単位には算入されない科目です。

## 記号の説明

- ◎：必修科目です。履修しなければならない学年が指定されています。単位が未修得の場合は、翌年度以降に履修しなければなりません。
- ：選択必修科目です。
- ◆：選択必修科目です。履修しなければならない学年が指定されています。単位が未修得の場合は、翌年度以降に履修しなければなりません。
- ：選択必修科目です。履修することができる学年/学期が指定されています。記号のある学年以外では履修できません。
- ：選択科目です。
- ⦿：自由科目です。スポーツ健康科学部以外の課程表にはありません。

記号がある欄の学年は履修できる最初の学年です。この記号のある学年以降の学年でも履修することができます。

春学期または秋学期のいずれかの学期に開講される科目は、春学期に記号がついています。春学期に記号がある科目が秋学期に開講される場合がありますので、履修したい科目が春学期の時間割にならない場合は、秋学期の時間割を見てください。

# スポーツ健康科学科 教育課程表

## 1. 基本科目

スポーツ健康科学科の基本科目はすべて必修科目であり、合計で18単位あります。表にあるすべての科目を履修します。

1年演習、2年演習、3年演習、4年演習は通年科目です。演習の履修については「17. 演習の履修」に詳しい説明があります。

1学年において、「情報基礎Ⅰ」を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
必修科目 18単位	学部必修科目	演習	SEM21101	1年演習	4	◎									
			SEM21202	2年演習	4			◎							
			SEM21303	3年演習	4					◎					
			SEM21404	4年演習	4								◎		
	情報基礎	IIT21101	情報基礎Ⅰ	2	◎										

## 2. 外国語科目

外国語科目には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語と日本語の8言語があり、必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。

### (1) 必修科目

外国人留学生を除く学生は英語が必修科目、外国人留学生は日本語が必修科目です。外国人留学生を除く学生は1学年で4単位、2学年で2単位の英語を履修します。外国人留学生は1学年で4単位、2学年で2単位の日本語を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
必修科目 6単位	外国語	英語	ENG21101	Comprehensive English 初級Ⅰ	1	◎									
			ENG21102	Comprehensive English 初級Ⅱ	1		◎								
			ENG21103	Introduction to TOEIC Ⅰ	1	◎									
			ENG21104	Introduction to TOEIC Ⅱ	1		◎								
			ENG21205	English Communication 初級Ⅰ	1			◎							
			ENG21206	English Communication 初級Ⅱ	1				◎						
	日本語	JPN21101	(外) 日本語 A Ⅰ	1	◎									留学生履修科目	
		JPN21102	(外) 日本語 A Ⅱ	1		◎								留学生履修科目	
		JPN21103	(外) 日本語 B Ⅰ	1	◎									留学生履修科目	
		JPN21104	(外) 日本語 B Ⅱ	1		◎								留学生履修科目	
		JPN21205	(外) 日本語 C Ⅰ	1			◎							留学生履修科目	
JPN21206	(外) 日本語 C Ⅱ	1				◎						留学生履修科目			

### (2) 選択必修科目

外国人留学生を除く学生は英語科目から選択して、2単位以上を履修します。外国人留学生は日本語（2単位）を必ず履修します。履修する学年が指定されています。



大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目2単位以上	外国語	英語	ENG21207	Comprehensive English 中級 I	1			◆							
			ENG21208	Comprehensive English 中級 II	1				◆						
			ENG21209	資格英語 I	1			◆							
			ENG21210	資格英語 II	1				◆						
			ENG21211	メディア英語 I	1			◆							
			ENG21212	メディア英語 II	1				◆						
			ENG21213	English Writing I	1			◆							
			ENG21214	English Writing II	1				◆						
			ENG21215	English Reading I	1			◆							
			ENG21216	English Reading II	1				◆						
			ENG21317	English Communication 中級 I	1					◆					
			ENG21318	English Communication 中級 II	1						◆				
			ENG21319	スポーツ専門英語	2	●									
		日本語	JPN21207	(外) 日本語D I	1			◆							留学生履修科目
	JPN21208		(外) 日本語D II	1				◆						留学生履修科目	

### (3) 選択科目

選択科目の外国語には、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語と朝鮮・韓国語があります。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	外国語	フランス語	FRA21101	初級フランス語 I	1	○									
			FRA21102	初級フランス語 II	1		○								
			FRA21203	フランス語会話 I	1			○							
			FRA21204	フランス語会話 II	1				○						
		ドイツ語	GER21101	初級ドイツ語 I	1	○									
			GER21102	初級ドイツ語 II	1		○								
			GER21203	ドイツ語会話 I	1			○							
			GER21204	ドイツ語会話 II	1				○						
		スペイン語	SPA21101	初級スペイン語 I	1	○									
			SPA21102	初級スペイン語 II	1		○								
			SPA21203	スペイン語会話 I	1			○							
			SPA21204	スペイン語会話 II	1				○						
		ポルトガル語	POR21101	初級ポルトガル語 I	1	○									
			POR21102	初級ポルトガル語 II	1		○								
			POR21203	ポルトガル語会話 I	1			○							
			POR21204	ポルトガル語会話 II	1				○						
		中国語	CHI21101	初級中国語 I	1	○									
			CHI21102	初級中国語 II	1		○								
			CHI21203	中国語会話 I	1			○							
			CHI21204	中国語会話 II	1				○						
		朝鮮・韓国語	KOR21101	初級朝鮮・韓国語 I	1	○									
			KOR21102	初級朝鮮・韓国語 II	1		○								
			KOR21203	朝鮮・韓国語会話 I	1			○							
			KOR21204	朝鮮・韓国語会話 II	1				○						

### 3. 教養科目

教養科目は選択必修科目です。人文、地域、社会、自然の区分があります。表の科目から選択して、16単位以上を履修します。すべての科目を1学年から履修することができます。

(外) が付いている科目名は外国人留学生在が履修登録できる科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
選択必修科目 16単位以上	教養基礎	人文	HUM21101	哲学Ⅰ	2	●										
			HUM21102	哲学Ⅱ	2		●									
			HUM21103	社会倫理学Ⅰ	2	●										
			HUM21104	社会倫理学Ⅱ	2		●									
			HUM21105	宗教学Ⅰ	2	●										
			HUM21106	宗教学Ⅱ	2		●									
			HUM21107	美術史Ⅰ	2	●										
			HUM21108	美術史Ⅱ	2		●									
			HUM21109	言語論Ⅰ	2	●										
			HUM21110	言語論Ⅱ	2		●									
			HUM21111	現代文章論Ⅰ	2	●										
			HUM21112	現代文章論Ⅱ	2		●									
			HUM21113	考古学Ⅰ	2	●										
			HUM21114	考古学Ⅱ	2		●									
			HUM21115	人文地理学Ⅰ	2	●										
			HUM21116	人文地理学Ⅱ	2		●									
			HUM21117	民俗学Ⅰ	2	●										
			HUM21118	民俗学Ⅱ	2		●									
	地域	REG21101	文学（日本文学）Ⅰ	2	●											
		REG21102	文学（日本文学）Ⅱ	2		●										
		REG21103	文学（外国文学）Ⅰ	2	●											
		REG21104	文学（外国文学）Ⅱ	2		●										
		REG21105	歴史学入門（日本史）Ⅰ	2	●											
		REG21106	歴史学入門（日本史）Ⅱ	2		●										
		REG21107	歴史学入門（東洋史）Ⅰ	2	●											
		REG21108	歴史学入門（東洋史）Ⅱ	2		●										
		REG21109	歴史学入門（西洋史）Ⅰ	2	●											
		REG21110	歴史学入門（西洋史）Ⅱ	2		●										
		REG21111	日本文化論Ⅰ	2	●											
		REG21112	日本文化論Ⅱ	2		●										
		REG21113	外国文化論（アジア）Ⅰ	2	●											
		REG21114	外国文化論（アジア）Ⅱ	2		●										
		REG21115	外国文化論（西欧）Ⅰ	2	●											
		REG21116	外国文化論（西欧）Ⅱ	2		●										
		REG21117	イスラム学Ⅰ	2	●											
		REG21118	イスラム学Ⅱ	2		●										
		REG21119	(外) 日本事情（文化と生活）	2	●										留学生履修科目	
		REG21120	(外) 日本の思想	2	●										留学生履修科目	
		REG21121	(外) 日本の現在	2		●									留学生履修科目	
		社会	LSO21101	憲法Ⅰ	2	●										
			LSO21102	憲法Ⅱ	2		●									
			LSO21103	法学Ⅰ	2	●										
	LSO21104		法学Ⅱ	2		●										
	LSO21105		政治学Ⅰ	2	●											
	LSO21106		政治学Ⅱ	2		●										
LSO21107	経済学Ⅰ		2	●												
LSO21108	経済学Ⅱ		2		●											
LSO21109	社会学Ⅰ		2	●												

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
	社会		LSO21110	社会学Ⅱ	2		●									
			LSO21111	心理学Ⅰ	2	●										
			LSO21112	心理学Ⅱ	2		●									
			LSO21113	教育学Ⅰ	2	●										
			LSO21114	教育学Ⅱ	2		●									
			LSO21115	現代女性論Ⅰ	2	●										
			LSO21116	現代女性論Ⅱ	2		●									
			LSO21117	社会環境論Ⅰ	2	●										
			LSO21118	社会環境論Ⅱ	2		●									
		自然		NAT21101	数学Ⅰ	2	●									
				NAT21102	数学Ⅱ	2		●								
				NAT21103	地球科学Ⅰ	2	●									
				NAT21104	地球科学Ⅱ	2		●								
				NAT21105	物質科学Ⅰ	2	●									
				NAT21106	物質科学Ⅱ	2		●								
			NAT21107	生命科学Ⅰ	2	●										
			NAT21108	生命科学Ⅱ	2		●									
			NAT21109	生態学Ⅰ	2	●										
		NAT21110	生態学Ⅱ	2		●										
		NAT21111	自然地理学Ⅰ	2	●											
		NAT21112	自然地理学Ⅱ	2		●										
		NAT21113	自然環境論Ⅰ	2	●											
		NAT21114	自然環境論Ⅱ	2		●										

\*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

#### 4. キャリア科目

キャリア科目は選択必修科目です。キャリア形成、社会・企業研究、進路支援の区分があります。表にある科目から選択して、6単位以上を履修します。

キャリア科目には、RKU入門などの認定科目が含まれています。認定科目については、「18.単位の認定」に詳しい説明があります。

(特)の付いている科目は特別奨学生が履修登録する科目です。これらの科目は年間の最高履修単位数には含まれません。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目6単位以上	キャリア形成		CAD21101	RKU入門	1	■								認定科目	
			CAD21202	RKU実践	1			●							認定科目
			CAD21203	(外)ビジネス日本語Ⅰ	1			●							留学生履修科目
			CAD21204	(外)ビジネス日本語Ⅱ	1				●						留学生履修科目
			CAD21105	(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	◆									特別奨学生履修科目
			CAD21206	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1			◆							特別奨学生履修科目
			CAD21107	(特)キャリア特講(基礎)	2	◆									特別奨学生履修科目
			CAD21208	(特)キャリア特講(発展)	2			◆							特別奨学生履修科目
			CAD21309	(特)キャリア特講(職業)	2					◆					特別奨学生履修科目
			CAD21110	キャリアデザイン	2	●									
			CAD21111	キャリアマネジメント	2		●								
			CAD21212	キャリアアカウンセリング	2				●						
			CAD21113	海外研修	2	●									認定科目
		社	SCR21101	災害ボランティアⅠ	1	●									認定科目

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
		会・企業研究	SCR21102	災害ボランティアⅡ	1	●								認定科目
			SCR21203	日本通運寄付講座	2			●						
			SCR01110	日本通運寄付講座Ⅱ	2				●					
			SCR21204	全国通運連盟寄付講座	2			●						
			SCR21205	野村証券寄付講座	2			●						
			SCR21206	ダイレクトマーケティング実践講座	2			●						
			SCR21207	インターンシップ（準備）	2			●						
			SCR21208	インターンシップ（報告）	2				●					
			SCR21109	インターンシップ（海外）	2	●								認定科目
			SCR21110	地域ロジスティクス実践講座	2					●				
		進路支援	COS21101	キャリア基礎（言語）	1	■	■							
			COS21102	キャリア基礎（計算）	1	■	■							
			COS21203	キャリア発展（文章）	1			■	■					
			COS21204	キャリア発展（数理）	1			■	■					
			COS21305	職業選択論	2					●				

\*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

## 5. 専門科目

専門科目は必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。

### (1) 必修科目

必修科目は学部必修科目と学科必修科目に分かれています。1学年において「スポーツ健康科学概論」と「海浜実習」、2学年において「スポーツ救急理論・実習Ⅰ」、3学年において「スポーツリーダー実習」を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
必修科目 8単位	学部必修 4単位		FAC21101	スポーツ健康科学概論	2	◎									
			FAC21102	海浜実習	2	◎									
	学科必修 4単位		DEC21201	スポーツ救急理論・実習Ⅰ	2			◎							
			DEC21302	スポーツリーダー実習	2					◎					

### (2) 選択必修科目

選択必修科目は専門基礎科目とスポーツ実技科目に分かれています。

専門基礎科目にはⅠ、Ⅱ、Ⅲの区分があります。Ⅰから14単位以上、Ⅱから12単位以上、Ⅲから10単位以上を履修します。合計として、専門基礎科目から36単位以上を履修します。

スポーツ実技科目にはⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの区分があります。Ⅰから2単位以上、Ⅱから2単位以上、Ⅲから2単位以上、Ⅳから1単位以上を履修します。合計として、スポーツ実技科目から9単位以上を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
選択必修科目 45単位以上	専門基礎 36単位以上	I 14単位以上	SBO21101	スポーツ哲学	2	●										
			SBO21102	スポーツマネジメント論	2	●										
			SBO21103	スポーツ心理学	2	●										
			SBO21104	スポーツ人類学	2			●								
			SBO21205	安全教育（学校安全を含む）	2			●								
			SBO21206	スポーツ社会学	2			●								
			SBO21207	スポーツ政策論	2			●								
			SBO21308	スポーツ史	2						●					
			SBO21309	スポーツ教育学	2						●					
		II 12単位以上	SBW21101	スポーツ医学	2	●										
			SBW21102	衛生・公衆衛生学（運動衛生学を含む）	2	●										
			SBW21103	機能解剖学 I	2	●										
			SBW21104	スポーツ栄養学 I	2	●										
			SBW21205	スポーツバイオメカニクス	2			●								
			SBW21206	学校保健学	2			●								
			SBW21207	健康教育学	2			●								
			SBW21208	スポーツ生理学	2			●								
			SBW21309	精神保健学	2						●					
		III 10単位以上	SBH21101	スポーツ運動学	2	●										
			SBH21102	発育発達老化の理論・実習	2	●										
			SBH21203	コーチング論	2			●								
			SBH21204	体力トレーニング論	2			●								
			SBH21205	メンタルトレーニング論	2			●								
			SBH21306	スポーツ技術・戦術論	2						●					
			SBH21307	スポーツ情報戦略・分析論	2						●					
			SBH21308	アダプテッド・スポーツ論	2						●					
		スポーツ実技科目 9単位以上	I 2単位以上	SPO21101	体づくり運動	1	●									
				SPO21102	器械運動	1	●									
				SPO21103	陸上競技	1	●									
				SPO21104	水泳・水中運動	1	●									
			II 2単位以上	SPW21101	バスケットボール	1	●									
				SPW21102	サッカー	1	●									
				SPW21103	ラグビー	1	●									
				SPW21104	アメリカンフットボール	1	●									
			III 2単位以上	SPH21101	野球・ソフトボール	1	●									
				SPH21102	バレーボール	1	●									
				SPH21103	テニス	1	●									
				SPH21104	バドミントン	1	●									
SPH21105	卓球			1	●											
IV 1単位以上	SPF21101		柔道	1	●											
	SPF21102		剣道	1	●											
	SPF21103		ダンス	1	●											
	SPF21104	新体操	1	●												

\* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

### (3) 選択科目

専門発展科目です。専門発展科目には I、II、III、IV、V、VI の区分があります。表から自由に科目を選択して、履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
選択科目	専門発展	I	SAO21201	トレーナー概論	2			●								
			SAO21202	リハビリテーション理論・実習Ⅰ（基礎）	2			●								
			SAO21203	コンディショニング理論・実習Ⅰ（基礎）	2			●								
			SAO21304	スポーツ救急理論・実習Ⅱ	2					●						
			SAO21305	リハビリテーション理論・実習Ⅱ（応用）	2					●						
			SAO21306	スポーツ外傷・障害と予防	2					●						
		II	SAW21101	エアロビックダンス	1	●										
			SAW21302	トレーニング実習	1					●						
			SAW21303	健康産業施設等現場実習	1						●					
			SAW21104	健康づくりとジョギング	2	●										
			SAW21105	エアロビック運動の理論	2	●										
			SAW21206	健康管理学	2			●								
			SAW21207	健康づくりと運動プログラム	2			●								
			SAW21208	スポーツ栄養学Ⅱ	2			●								
			SAW21209	測定評価理論・実習	2			●								
			SAW21210	ジョギング・ウォーキング	2			●								
		III	SAH21201	学校教育現場実習	1			●								
			SAH21102	教育原理	2	●										
			SAH21103	教育社会学概論	2	●										
			SAH21104	教育心理学	2	●										
			SAH21105	保健体育科教育法Ⅰ	2			●								
			SAH21206	教職特論演習Ⅰ	2			●								
			SAH21207	保健体育科教育法Ⅱ	2					●						
			SAH21308	教職特論演習Ⅱ	2					●						
			SAH21309	教職特論演習Ⅲ	2					●						
		IV	SAF21201	スポーツボランティア論・実習	2			●								
			SAF21302	スポーツプロモーション論・実習	2					●						
			SAF21304	コーチング理論・実習	2					●						
		V	SAV21201	スポーツと文化	2			●								
			SAV21202	スポーツと法	2			●								
			SAV21303	スポーツと情報処理	2					●						
			SAV21304	スポーツと政治	2					●						
			SAV21305	スポーツとメディア	2					●						
			SAV21406	スポーツと国際協力	2			●								
		VI	SAS21201	キャンプ実習	1			●								
			SAS21202	スキー・スノーボード	1			●								
			SAS21203	ニュー・スポーツ実習	1			●								
			SAS21304	ライフセービング実習	1					●						
			SAS21305	ゴルフ実習	1					●						

\* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

## 6. 自由科目

教養科目と資格科目があります。資格科目は教員免許および健康運動指導士・アスレティックトレーナーの資格を取得するために必要な科目です。自由科目ですので、卒業単位に算入されません。

教員免許を取得するためには、表にある科目以外にも履修する科目がありますので、別冊「教職課程・履修の手引き」を参照してください。また、健康運動指導士・アスレティックトレーナーについては、「20. 資格の取得」を参照してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
自由科目	教養		LIA21201	リベラルアーツ演習	2			◎								
		資格科目	教員免許	TEA21201	スポーツ教材研究Ⅰ	1			◎							
	TEA21202			スポーツ教材研究Ⅱ	1			◎								
	TEA21303			スポーツ教材研究Ⅲ	1					◎						
	TEA21304			スポーツ教材研究Ⅳ	1					◎						
	TEA21305			教育実習（事前指導）	1						◎					
	TEA21106			教育史	2	◎										
	TEA21107			教師論	2	◎										
	TEA21208			教育相談	2			◎								
	TEA21209			教育課程論	2			◎								
	TEA21210			生徒指導論	2			◎								
	TEA21211			特別活動論	2			◎								
	TEA21212			道徳教育論	2			◎								
	TEA21313			教育方法学	2						◎					
	TEA21314			介護入門（選択）	2						◎					
	TEA21415			教職実践演習	2										◎	
	TEA21416			教育実習（高等学校）	2									◎		
	TEA21417			教育実習（中学校）	4									◎		
	健康運動指導士・AT		ATT21301	アスレティックトレーナー実習Ⅰ（基礎）	1						◎					
			ATT21402	アスレティックトレーナー実習Ⅱ（応用）	1								◎			
			ATT21203	機能解剖学Ⅱ	2			◎								
			ATT21204	運動負荷試験	2			◎								
			ATT21205	健康づくり施策論	2			◎								
			ATT21306	機能評価理論・実習	2						◎					
			ATT21307	アスレティックトレーニング理論・実習	2								◎			
		ATT21308	コンディショニング理論・実習Ⅱ（競技別）	2						◎						

\* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

## 卒業に必要な単位数

卒業するために必要な必修科目、選択必修科目、選択科目の単位数は下表の通りです。

授業科目		修得単位数		
必修科目	基本科目	18 単位	32 単位	
	外国語科目	6 単位		
	学部必修科目	4 単位		
	学科必修科目	4 単位		
選択必修科目	外国語科目	2 単位以上	67 単位以上 左記を含め 92 単位以上	
	教養科目	16 単位以上		
	キャリア科目	6 単位以上		
	専門 基礎 科目	I		14 単位以上
		II		12 単位以上
		III		10 単位以上
	スポ ーツ 実技 科目	I		2 単位以上
		II		2 単位以上
		III		2 単位以上
IV		1 単位以上		
選択科目	外国語科目			
	専門発展科目			
合計		124 単位		
自由科目	教養科目	(卒業単位には含まれません)		
	資格科目			

卒業に必要な単位数は 124 単位であり、このうち必修科目の単位数は 32 単位です。残りの単位数は 92 単位ですので、選択必修科目と選択科目から 92 単位以上を履修しなければなりません。選択必修科目で指定されている履修単位数は 67 単位ですので、不足する 25 単位は選択必修科目と選択科目から自由に履修してください。



# スポーツコミュニケーション学科 教育課程表

## 1. 基本科目

スポーツコミュニケーション学科の基本科目は全て必修科目であり、合計で 18 単位あります。表にあるすべての科目を履修します。

1 年演習、2 年演習、3 年演習、4 年演習は通年科目です。演習の履修については「17. 演習の履修」に詳しい説明があります。

1 学年において、「情報基礎 I」を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1 春	1 秋	2 春	2 秋	3 春	3 秋	4 春	4 秋	備考
必修科目 18単位	学部 必修 科目	演習	SEM22101	1 年演習	4	◎								
			SEM22202	2 年演習	4			◎						
			SEM22303	3 年演習	4					◎				
			SEM22404	4 年演習	4							◎		
		情報基礎	IIT22101	情報基礎 I	2	◎								

## 2. 外国語科目

外国語科目には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語と日本語の 8 言語があり、必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。

### (1) 必修科目

外国人留学生を除く学生は英語が必修科目、外国人留学生は日本語が必修科目です。外国人留学生を除く学生は 1 学年で 4 単位、2 学年で 2 単位の英語を履修します。外国人留学生は 1 学年で 4 単位、2 学年で 2 単位の日本語を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1 春	1 秋	2 春	2 秋	3 春	3 秋	4 春	4 秋	備考	
必修科目 6 単位	外国語	英語	ENG22101	Comprehensive English 初級 I	1	◎									
			ENG22102	Comprehensive English 初級 II	1		◎								
			ENG22103	Introduction to TOEIC I	1	◎									
			ENG22104	Introduction to TOEIC II	1		◎								
			ENG22205	English Communication 初級 I	1			◎							
			ENG22206	English Communication 初級 II	1				◎						
	日本語	日本語	JPN22101	(外) 日本語 A I	1	◎									留学生履修科目
			JPN22102	(外) 日本語 A II	1		◎								留学生履修科目
			JPN22103	(外) 日本語 B I	1	◎									留学生履修科目
			JPN22104	(外) 日本語 B II	1		◎								留学生履修科目
			JPN22205	(外) 日本語 C I	1			◎							留学生履修科目
			JPN22206	(外) 日本語 C II	1				◎						留学生履修科目

### (2) 選択科目

選択科目の外国語には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語と日本語があります。表から自由に科目を選択して、履修します。

(外) が付いている科目名は外国人留学生が履修登録できる科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	外国語	英語	ENG22207	Comprehensive English 中級 I	1			○							
			ENG22208	Comprehensive English 中級 II	1				○						
			ENG22209	資格英語 I	1			○							
			ENG22210	資格英語 II	1				○						
			ENG22211	メディア英語 I	1			○							
			ENG22212	メディア英語 II	1				○						
			ENG22213	English Writing I	1			○							
			ENG22214	English Writing II	1				○						
			ENG22215	English Reading I	1			○							
			ENG22216	English Reading II	1				○						
			ENG22317	English Communication 中級 I	1						○				
			ENG22318	English Communication 中級 II	1							○			
		フランス語	FRA22101	初級フランス語 I	1	○									
			FRA22102	初級フランス語 II	1		○								
		ドイツ語	GER22101	初級ドイツ語 I	1	○									
			GER22102	初級ドイツ語 II	1		○								
		スペイン語	SPA22101	初級スペイン語 I	1	○									
			SPA22102	初級スペイン語 II	1		○								
	ポルトガル語	POR22101	初級ポルトガル語 I	1	○										
		POR22102	初級ポルトガル語 II	1		○									
	中国語	CHI22101	初級中国語 I	1	○										
		CHI22102	初級中国語 II	1		○									
	朝鮮・韓国語	KOR22101	初級朝鮮・韓国語 I	1	○										
		KOR22102	初級朝鮮・韓国語 II	1		○									
	日本語	JPN22207	(外) ビジネス日本語 I	1			○							留学生履修科目	
		JPN22208	(外) ビジネス日本語 II	1				○						留学生履修科目	

### 3. 教養科目

教養科目は選択必修科目です。言葉や思想に関する領域、社会や健康に関する領域、自然や環境に関する領域、歴史や文学に関する領域の区分があります。表の科目から選択して、16単位以上を履修します。教養科目は、1学年から3年生で履修することを推奨します。

(外) が付いている科目名は外国人留学生が履修登録できる科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 16単位以上	教養基礎	言葉や思想に関する領域	LAT22101	哲学 I	2	●									
			LAT22102	哲学 II	2		●								
			LAT22103	教育学 I	2	●									
			LAT22104	教育学 II	2		●								
			LAT22105	心理学 I	2	●									
			LAT22106	心理学 II	2		●								
			LAT22107	宗教学 I	2	●									
			LAT22108	宗教学 II	2		●								
			LAT22109	言語論 I	2	●									
			LAT22110	言語論 II	2		●								
			LAT22111	現代文章論 I	2	●									
			LAT22112	現代文章論 II	2		●								
			LAT22113	イスラム学 I	2	●									
			LAT22114	イスラム学 II	2		●								
			LAT22115	(外) 日本語表現法	2	●									
	社会や健康に関する	SOH22101	社会学 I	2	●										
SOH22102		社会学 II	2		●										

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考			
		る領域	SOH22103	経済学Ⅰ	2	●											
			SOH22104	経済学Ⅱ	2		●										
			SOH22105	法学Ⅰ	2	●											
			SOH22106	法学Ⅱ	2		●										
			SOH22107	人文地理学Ⅰ	2	●											
			SOH22108	人文地理学Ⅱ	2		●										
			SOH22109	日本文化論Ⅰ	2	●											
			SOH22110	日本文化論Ⅱ	2		●										
			SOH22111	外国文化論（アジア）Ⅰ	2	●											
			SOH22112	外国文化論（アジア）Ⅱ	2		●										
			SOH22113	外国文化論（西欧）Ⅰ	2	●											
			SOH22114	外国文化論（西欧）Ⅱ	2		●										
			SOH22115	現代女性論Ⅰ	2	●											
			SOH22116	現代女性論Ⅱ	2		●										
			SOH22117	社会倫理学Ⅰ	2	●											
			SOH22118	社会倫理学Ⅱ	2		●										
			SOH22119	（外）日本事情	2	●										留学生履修科目	
			自然や環境に関する領域	NAE22101	数学Ⅰ	2	●										
				NAE22102	数学Ⅱ	2		●									
		NAE22103		地球科学Ⅰ	2	●											
		NAE22104		地球科学Ⅱ	2		●										
		NAE22105		生態学Ⅰ	2	●											
		NAE22106		生態学Ⅱ	2		●										
		NAE22107		自然地理学Ⅰ	2	●											
		NAE22108		自然地理学Ⅱ	2		●										
		NAE22109		生命科学Ⅰ	2	●											
		NAE22110		生命科学Ⅱ	2		●										
		歴史や文学に関する領域		HIL22101	文学（日本文学）Ⅰ	2	●										
			HIL22102	文学（日本文学）Ⅱ	2		●										
			HIL22103	歴史学入門（日本史）Ⅰ	2	●											
			HIL22104	歴史学入門（日本史）Ⅱ	2		●										
			HIL22105	歴史学入門（東洋史）Ⅰ	2	●											
			HIL22106	歴史学入門（東洋史）Ⅱ	2		●										
			HIL22107	歴史学入門（西洋史）Ⅰ	2	●											
			HIL22108	歴史学入門（西洋史）Ⅱ	2		●										
			HIL22109	民俗学Ⅰ	2	●											
			HIL22110	民俗学Ⅱ	2		●										
			HIL22111	考古学Ⅰ	2	●											
			HIL22112	考古学Ⅱ	2		●										
			HIL22113	美術史Ⅰ	2	●											
			HIL22114	美術史Ⅱ	2		●										

\* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

#### 4. キャリア科目

キャリア科目は選択必修科目です。キャリア形成、社会・企業研究、進路支援の区分があります。表にある科目から選択して、6単位以上を履修します。「キャリアデザイン」と「キャリアマネジメント」は1・2学年で履修することを推奨します。

キャリア科目には、RKU 入門などの認定科目が含まれています。認定科目については、「18.単位の認定」に詳しい説明があります。

（特）の付いている科目は特別奨学生が履修登録する科目です。これらの科目は年間の最高履修単位数には含まれません。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 6単位以上	キャリア 形成		CAD22101	RKU 入門	1	■								認定科目	
			CAD22202	RKU 実践	1			●							認定科目
			CAD22103	(特) グローバルコミュニケーション (基礎)	1	◆									特別奨学生履修科目
			CAD22204	(特) グローバルコミュニケーション (発展)	1			◆							特別奨学生履修科目
			CAD22105	(特) キャリア特講 (基礎)	2	◆									特別奨学生履修科目
			CAD22206	(特) キャリア特講 (発展)	2			◆							特別奨学生履修科目
			CAD22307	(特) キャリア特講 (職業)	2					◆					特別奨学生履修科目
			CAD22108	キャリアデザイン	2	●									
			CAD22109	キャリアマネジメント	2		●								
			CAD22210	キャリアカウンセリング	2				●						
			CAD22111	海外研修	2	●									認定科目
		社会・ 企業 研究		SCR22101	災害ボランティア I	1	●								認定科目
			SCR22102	災害ボランティア II	1	●									認定科目
			SCR22203	日本通運寄付講座	2			●							
			SCR01110	日本通運寄付講座 II	2				●						
			SCR22204	全国通運連盟寄付講座	2			●							
			SCR22205	野村証券寄付講座	2			●							
			SCR22206	ダイレクトマーケティング実践講座	2			●							
			SCR22207	インターンシップ基礎	2			●							
			SCR22208	インターンシップ	2				●						
			SCR22109	インターンシップ (海外)	2	●									認定科目
		SCR21110	地域ロジスティクス実践講座	2						●					
		進路 支援		COS22301	キャリア基礎 (言語)	1	■	■	■	■					1 学年推奨
			COS22302	キャリア基礎 (数理)	1	■	■	■	■						1 学年推奨
			COS22303	キャリア発展 (言語)	1	■	■	■	■						2 学年推奨
			COS22304	キャリア発展 (数理)	1	■	■	■	■						2 学年推奨
			COS22305	職業選択論	1						●				

\* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

## 5. 専門科目

専門科目は必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。

### (1) 必修科目

必修科目は学部必修科目と学科必修科目に分かれています。1 学年において「スポーツ健康科学概論」、「スポーツコミュニケーション概論」と「スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)」、2 学年において「海浜実習」と「グローバルスポーツ演習」、3 学年において「プレビジネスプログラム I」を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
必修 科目 12単位	学部必修 4単位			スポーツ健康科学概論	2	◎									
				海浜実習	2			◎							
	学科 必修 8単位		DEC22101	スポーツコミュニケーション概論	2	◎									
			DEC22102	スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	2	◎									
			DEC22203	グローバルスポーツ演習	2			◎							
			DEC22304	プレビジネスプログラム I	2					◎					

\* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

## (2) 選択必修科目

必修選択科目は学科基礎科目、学部基礎科目とスポーツ実技科目に分かれています。

学科基礎科目はコミュニケーション領域科目で、英語科目が含まれています。英語科目を除くコミュニケーション領域科目から6単位以上を履修し、英語科目から2単位以上を履修します。合計として、学科基礎科目から8単位以上を履修します。学科基礎科目は、科目の配当学年に履修することを推奨します。

学部基礎科目にはⅠ、Ⅱ、Ⅲの区分があります。合計として、学部基礎科目から20単位以上を履修します。学部基礎科目は、1年学年配当科目は1学年で、2年学年配当科目は2・3学年で履修することを推奨します。

スポーツ実技科目にはⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの区分があります。Ⅰから2単位以上、Ⅱから2単位以上、Ⅲから2単位以上、Ⅳから1単位以上を履修します。合計として、スポーツ実技科目から7単位以上を履修します。スポーツ実技科目は、1学年から3学年で履修することを推奨します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 35単位以上	学科基礎 6単位以上	コミュニケーション領域	COM22101	コミュニケーション論	2	●									
			COM22102	身体表現論	2	●									
			COM22203	省察的学習論	2			●							
			COM22204	フォロワーシップ論	2			●							
		コミュニケーション領域 2単位以上	COM22105	実践コミュニケーション英語 (Task-Based English)	2	●									
			COM22206	スポーツ関連英語 (English in Action)	2			●							
			COM22307	英語資格支援講座 (Lifelong English)	2					●					
	学部基礎 20単位以上	Ⅰ	SBO22101	スポーツ心理学	2	●									
			SBO22102	スポーツ社会学	2	●									
			SBO22103	スポーツ政策論	2	●									
			SBO22104	スポーツ教育学	2	●									
			SBO22205	スポーツ救急理論・実習Ⅰ	2			●							
			SBO22206	スポーツ史	2			●							
			SBO22207	スポーツ哲学	2			●							
			SBO22208	スポーツ人類学	2			●							
			SBO22209	安全教育(学校安全を含む)	2			●							
		Ⅱ	SBW22201	スポーツ医学	2			●							
			SBW22202	スポーツバイオメカニクス	2			●							
			SBW22203	精神保健学	2			●							
			SBW22204	衛生・公衆衛生学(運動衛生学を含む)	2			●							
			SBW22205	学校保健学	2			●							
			SBW22206	機能解剖学Ⅰ	2			●							
			SBW22207	健康教育学	2			●							
			SBW22208	スポーツ栄養学Ⅰ	2			●							
			SBW22209	スポーツ生理学	2			●							
		Ⅲ	SBH22101	スポーツ運動学	2	●									
SBH22102			スポーツ技術・戦術論	2	●										
SBH22203			体力トレーニング論	2			●								
SBH22204			発育発達老化の理論・実習	2			●								
SBH22205			メンタルトレーニング論	2			●								
SBH22206			アダプテッド・スポーツ論	2			●								

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
スポーツ実技科目 7単位以上	I 2単位以上		SPO22101	体づくり運動	1	●										
			SPO22102	器械運動	1	●										
			SPO22103	陸上競技	1	●										
			SPO22104	水泳・水中運動	1	●										
	II 2単位以上		SPW22101	バスケットボール	1	●										
			SPW22102	サッカー	1	●										
			SPW22103	ラグビー	1	●										
			SPW22104	アメリカンフットボール	1	●										
	III 2単位以上		SPH22101	野球・ソフトボール	1	●										
			SPH22102	バレーボール	1	●										
			SPH22103	テニス	1	●										
			SPH22104	バドミントン	1	●										
	IV 1単位以上		SPF22101	柔道	1	●										
			SPF22102	剣道	1	●										
			SPF22103	ダンス	1	●										
			SPF22104	新体操	1	●										

\* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

### (3) 選択科目

選択科目には学際的領域科目、マネジメント領域科目、情報・メディア領域科目とコーチング領域科目があります。表から自由に科目を選択して、履修します。

学際的領域科目は、1学年配当科目は1学年で、2学年配当科目は2・3学年で履修することを推奨します。マネジメント領域科目、情報・メディア領域科目とコーチング領域科目は、科目の配当学年で履修することを推奨します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	専門発展	学際的領域		プレビジネスプログラムⅡ	2							○			
			IND22101	社会調査法	2	○									
			IND22202	社会心理学	2			○							
			IND22203	グローバル化と文化	2			○							
			IND22204	障害者福祉論	2			○							
			IND22205	対人関係論	2			○							
			IND22206	国際社会学	2			○							
			IND22207	地域社会学	2			○							
			IND22208	開発社会学	2			○							
			IND22109	経営学総論Ⅰ	2	○									
			IND22110	経営学総論Ⅱ	2		○								
			IND22211	事業創造論Ⅰ	2			○							
			IND22212	事業創造論Ⅱ	2				○						
			IND22213	マーケティング論Ⅰ	2			○							
			IND22214	マーケティング論Ⅱ	2				○						
			IND22215	人的資源管理論Ⅰ	2			○							
			IND22216	人的資源管理論Ⅱ	2				○						
			IND22217	起業家育成講座Ⅰ	2			○							
			IND22218	起業家育成講座Ⅱ	2				○						
			IND22119	情報学概論Ⅰ	2	○									
			IND22120	情報学概論Ⅱ	2		○								
			IND22221	通信・ネットワーク概論	2			○							
			IND22222	情報応用システム論	2				○						
			IND22223	憲法Ⅰ	2			○							
IND22224	憲法Ⅱ	2				○									

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
	マネジメント領域		MAN22101	スポーツマネジメント概論	2	○										
			MAN22202	スポーツマネジメント演習	2			○								
			MAN22203	スポーツと地域開発	2			○								
			MAN22204	スポーツと国際協力	2			○								
			MAN22305	スポーツマネジメント実習	2					○						
	情報・メディア領域			INM22101	スポーツ情報・メディア概論	2	○									
				INM22202	ジャーナリズム論・演習	2			○							
				INM22203	スポーツ情報戦略・分析論	2			○							
				INM22304	スポーツ・ジャーナリズム実習	2						○				
				INM22305	スポーツ・インテリジェンス実習	2						○				
	コーチング領域			COA22101	コーチング概論	2	○									
				COA22202	コーチング演習	2			○							
				COA22203	専門コーチング演習Ⅰ(子どもスポーツ)	2			○							
				COA22204	専門コーチング演習Ⅱ(ボールゲーム)	2			○							
				COA22205	専門コーチング演習Ⅲ(武道)	2			○							
				COA22206	専門コーチング演習Ⅳ(表現系スポーツ)	2			○							
				COA22307	コーチング実習	2					○					

\* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

## 6. 資格基礎科目

資格基礎科目は選択科目です。教員免許の資格を取得するために必要な科目です。資格基礎科目は、科目の配当学年で履修することを推奨します。

教員免許を取得するためには、表にある科目以外にも履修する科目がありますので、別冊「教職課程・履修の手引き」を参照してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	資格基礎科目		TEB22101	教育原理	2	○									
			TEB22102	教師論	2	○									
			TEB22103	教育社会学概論	2	○									
			TEB22104	教育心理学	2	○									
			TEB22105	エアロビック運動の理論	2	○									
			TEB22206	教育相談	2			○							
			TEB22207	生徒指導論	2			○							
			TEB22208	保健体育科教育法Ⅰ	2			○							
			TEB22209	教育課程論	2			○							
			TEB22210	特別活動論	2			○							
			TEB22211	健康管理学	2			○							
			TEB22212	健康づくりと運動プログラム	2			○							
			TEB22313	教育方法学	2						○				
			TEB22314	保健体育科教育法Ⅱ	2						○				

\* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

## 7. 資格発展科目

資格発展科目は自由科目です。卒業単位に算入されません。教員免許とトレーニング指導者・健康運動指導士・健康運動実践指導者の資格を取得するために必要な科目です。資格発展科目は、科目の配当学年で履修することを推奨します。

教員免許を取得するためには、表にある科目以外にも履修する科目がありますので、別冊「教職課程・履修の手引き」を参照してください。また、トレーニング指導者・健康運動指導士・健康運動実践指導者については、「20.資格の取得」を参照してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単 位	1 春	1 秋	2 春	2 秋	3 春	3 秋	4 春	4 秋	備考	
自由 科目	資格 発展 科目	教員免許	TEA22101	教育史	2	◎									
			TEA22202	道徳教育論	2			◎							
			TEA22203	体育授業理論実習Ⅰ	2			◎							
			TEA22204	学校教育現場実習	1			◎							
			TEA22305	介護入門	2					◎					
			TEA22306	教育実習（事前指導）	1							◎			
			TEA22307	体育授業理論実習Ⅱ	2					◎					
			TEA22308	体育授業理論実習Ⅲ	2					◎					
			TEA22409	教職実践演習	2										◎
			TEA22410	教育実習（中学校）	3									◎	
			TEA22411	教育実習（高等学校）	1									◎	
	トレーニング 指導者 健康運動 指導士 健康運動 実践指導者		THH22101	測定評価理論・実習	2	◎									
			THH22102	トレーニング実習	1	◎									
			THH22103	コンディショニング理論・実習Ⅰ（基礎）	2	◎									
			THH22104	エアロビックダンス	1	◎									
			THH22205	スポーツ外傷・障害と予防	2			◎							
			THH22206	ジョギング・ウォーキング	2			◎							
			THH22307	スポーツ救急理論・実習Ⅱ	2					◎					
			THH22308	健康産業施設等現場実習	1							◎			

\* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。



## 卒業に必要な単位数

卒業するために必要な必修科目、選択必修科目、選択科目の単位数は下表の通りです。

授業科目		修得単位数		
必修科目	基本科目	18 単位		
	外国語科目	6 単位		
	学部必修科目	4 単位		
	学科必修科目	8 単位		
		36 単位		
選択必修科目	教養科目	16 単位以上		
	キャリア科目	6 単位以上		
	学科基礎科目		6 単位以上	
		英語	2 単位以上	
	学部基礎科目	20 単位以上		
	スポーツ実技科目	I	2 単位以上	
		II	2 単位以上	
		III	2 単位以上	
IV		1 単位以上		
		57 単位以上	左記を含め 88 単位以上	
選択科目	外国語科目			
	専門発展			
	資格基礎科目			
合計		124 単位		
自由科目	資格発展科目	(卒業単位には含まれません)		

卒業に必要な単位数は 124 単位であり、このうち必修科目の単位数は 36 単位です。残りの単位数は 88 単位ですので、選択必修科目と選択科目から 88 単位以上を履修しなければなりません。選択必修科目で指定されている履修単位数は 57 単位ですので、不足する 31 単位は、選択必修科目と選択科目から自由に履修してください。



# カリキュラムマップ



## カリキュラムマップをお届けします

マップ (map) は言うまでもなく“地図”です。地図はどのようなときに使うでしょう。(地図そのものを見ることに興味がある場合以外は)、どこか目的地に着くためだと思います。カリキュラム・マップは、みなさんが学修の目的地に着くための地図です。この地図は平面の道を示しているというよりは、1年次から4年次までに段階的上っていく山登りのルート案内に近いかもしれません。目的地は頂上です。同じ学科のなかにもいくつかの目的地(頂上)がある場合には、それぞれの目的地(頂上)が分けて記されています。

あるいは、この地図はSAOのようなRPGのマップと考えるとよいかもしれません。いきなり高階層の科目を修得することはできません。低階層で徐々にレベルを上げながら、登っていく必要があります。目的地に着くためには、特別なスキルを身につけなければならない場合もあります。カリキュラム・マップには、そのレベルに達するにはどの科目を攻略しなければならないか、必要なスキルを身につけるためにはどの科目をマスターしなければならないかが記されています。

ルートの大まかな説明をしましょう。最初は“はじまりの冒険者の町”で準備を整えます。1年次でかならず履修しなければならない必修科目はそのようなところudur。これから学ぶことがらの全体像をつかみ、最低限必要なスキルを身につけることになります。1年次・2年次で学ぶ「一般教養科目」では、基礎的な体力をつけレベルアップを図ります。学科によっては、この時期に特別なスキルを身につける必要があるかもしれません。スキルの習得は積み重ねですから、順番に学んでいく必要があります(科目履修の順番に注意しましょう)。

2年次以降は、本格的に専門のフィールドに入っていくことができます。選択必修の専門科目から目的地に向けた科目を選んで攻略します。キチンとマップを見ていないと、道を迷う可能性は大きいです。あとから「あの科目を取っておけばよかった」「あの科目は取らなくてもよかった」のようなことにならないように、マップが示すルートに沿って進みましょう(余裕がある人は寄り道してもいいですけど)。

3・4年次は頂上の攻略です。4年次には最終決戦が待っています。卒業に必要な科目のほとんどを3年次までに履修・単位取得し、4年次には時間的な余裕を残しましょう。また4年次には卒業後の進路を決めることとなりますが、1年次からある「キャリア科目」はそのための備えです。将来を見通す力を手に入れておきましょう。

3月20日の卒業式では、ディプロマ(学位)を記した証書=卒業証書が手渡されます。それぞれの学科のディプロマ・ポリシーは、そのディプロマ(学位)がどのような力・能力の証しなのかを示しています。このカリキュラム・マップが、4年間のカリキュラムを攻略して、みなさんがディプロマの力・能力を身につけるための導きとなることを祈っています。

一般教養科目は、次のような分野に大別される。

### 人文分野

人類の歩みと文化、さらに人間のあり方や生き方を考え、正しい言葉遣いに対する意識をはぐくみ、知性と感性のバランスがとれた円満な人格を形成するため、それに不可欠な知識を習得する。

### 地域分野

世界の特定の地域に焦点を絞り、その歴史、宗教、文化、文学、民俗、民族、などを、フィールドワーク（現地調査）の成果をも踏まえつつ、専門的に掘り下げる。担当者は、独自に蓄えた専門知識を活かし、概論とは一味違う講義を行なうだろう。

### 社会分野

さまざまな視野や立場から、主として現代社会の仕組みを学ぶとともに、社会の一構成員として責任感をもって生きることの大切さを考える。

### 自然分野

自然や宇宙のなりたち、ヒトや生き物全般について考察を深め、数理的・論理的な思考方法を身につける。環境問題や生命倫理なども、主としてこの分野で扱う。

### スポーツ・健康分野

健康の保持増進に資する科目・実技のほか、スポーツ科学の理論を学ぶ。主体的な身体の実験、つまり、体をみずからの意志で動かし、その効能をみずからの体で感じる、という体験を、理論および実技の両面から積む。「生涯スポーツ」を意識した実践科目を配し、健康長寿に役立つ知識を身につける。

## 外国語

### 〔英語〕 1年次、必修科目

「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をバランスよく伸ばすための「Comprehensive English 初級 I・II」を、さらに、資格試験 TOEIC 受験を念頭において、実用的な英語の運用能力を高めるための「Introduction to TOEIC I・II」を、それぞれ開講する。2年次には、必修科目として、「English Communication 初級 I・II」を開講し、会話を中心としたコミュニケーション能力の向上をめざす。

### 2年次以降、選択科目

「Comprehensive English 中級 I・II」「資格英語 I・II」「メディア英語 I・II」「English Writing I・II」「English Reading I・II」を、開講する。3年次以降には、選択科目として、「English Communication 中級 I・II」を、開講する。

### 〔第二外国語〕 1年次、選択必修科目

フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語より1科目を選択する。

### 〔日本語〕 1年次、必修科目（外国人留学生対象）

「日本語 A I・II」および「日本語 B I・II」を、開講する。前者では、日本語の資料や文章を、辞書を使いながら読む力を養う。後者では、授業で課されるレポート作成の基礎となる書く力を養い、さらに日本語能力試験 N2 合格レベルの、総合的な日本語力をつける。

### 2年次以降、必修科目（外国人留学生対象）

「日本語 C I・II」および「日本語 D I・II」を、開講する。前者では、学術的な文章を読みこなす力を、後者では、論文執筆の基礎となる作文力を身につけることを目標とし、日本語能力試験 N1 合格のための実力を養成する。

# 一般教養科目カリキュラムマップ

外国語科目			教養科目			
必修科目	選択必修科目	選択科目	選択必修科目			
			人文	地域	社会	自然
4年						
3年						
2年						
1年						

- ※ (外)は外国人留学生対象の科目です。
- ※ 必修科目に関しては、全て単位取得しなければならない。
- ※ 単位数は、外国語科目に関しては1単位、教養科目に関しては、2単位です。ただし、選択スポーツトレーニング実技Ⅰ・Ⅱに関しては、1単位です。
- ※ 選択必修科目の(外)日本語DⅠおよび(外)日本語DⅡは、外国人留学生は必ず履修しなければならない。
- ※ 選択必修科目の外国語科目は、1つの言語(2単位)を必ず履修しなければならない。
- ※ 選択科目の外国語科目は、自由に履修することができる。
- ※ 教養科目の選択必修科目(人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康)は、24単位以上履修しなければならない。

## キャリア科目カリキュラムマップ

本学のキャリア科目は、就職するためのノウハウを学ぶための科目ではありません。「キャリア」という言葉には様々な意味がありますが、本学では「仕事だけでなく家庭や趣味などを含めた人生全体」と捉えます。キャリア科目は皆さんが大学4年間で成長するための支援の一つとして設定しています。

皆さんのキャリア形成支援は、キャリア科目だけが担うものではありません。皆さんのキャリア形成に大切なのは、1～4年までのゼミと学部・学科の基礎・専門科目です。それらの科目が実際の社会とどのように繋がっているのか、そのヒントは「キャリアデザイン」や「キャリアマネジメント」で得られるでしょう。1年次から履修することができますので、大学4年間の学びや活動などの具体的な目標を設定し、4年間で有意義に過ごすことを「キャリアデザイン」や「キャリアマネジメント」の授業で考えてみましょう。

就職活動における筆記試験に不安を感じている方は、1年次のキャリア基礎でSPI対策を始めましょう。2年次からインターンシップに参加することも、就活だけではなく将来の方向性を決めるために良い経験になります。「インターンシップ（準備）」を履修するとスムーズにインターンシップに取り組めます。

教員のように他者への支援に携わりたい方は、2年次から履修できる「キャリアカウンセリング」、企業への就職を希望する方は「職業選択論」「各種寄付講座」の履修をお勧めします。その他に、認定科目として「RKU実践」「災害ボランティア」など、皆さんの活動をサポートする科目もあります。認定方法は、課程表の「履修の手引き」を確認してください。

キャリア科目群には、各学部学科選定の科目もあります。それらの科目もバランスよく履修しましょう。

参考：流通経済大学4年間のキャリア形成支援

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基本的な考え方		RKU基礎力の醸成 社会へ出るための土台作り				主体的に行動する力の醸成 進路選択への足掛かり			
指針となるテキスト		RKUキャリアガイドブック				就職ガイドブック			
学部教育	少人数教育	1年ゼミ		2年ゼミ		3年ゼミ		4年ゼミ	
	教養・専門領域	語学・必修科目ほか		教養基礎科目ほか		専門基礎科目ほか		専門発展科目ほか	
キャリア科目	キャリア形成基礎	キャリアデザイン	キャリアマネジメント	キャリアカウンセリング					
	社会・企業研究					インターンシップ基礎・各種寄付講座等			
	進路支援	キャリア基礎・キャリア発展		RKU実践				職業選択論	
修学支援	教学支援センター	生活・学習サポート							
						修学基礎講座			
教育導入	教学・就職支援センター	RKU WEE K							
就職支援	就職支援センター	キャリアサポート							
						就職支援プログラム			
				就職ガイダンス・セミナー・学内合同企業説明会・各種試験ほか					
その他	課外講座								



# キャリア科目カリキュラムマップ

RKUの目指すキャリア形成  
 \* 社会へ出て専門能力を積み上げるための土台をつくること  
 \* 生涯学び成長し続けるための土台をつくること

	CP1	CP2	CP3		
3年生	☆			(特) キャリア特講 (職業)	特別奨学生
			☆	職業選択論	

	CP1	CP2	CP3		
2年生	☆			(特) キャリア特講 (発展)	特別奨学生
	☆			(特) グローバルコミュニケーション (発展)	特別奨学生
	☆			ビジネス日本語 I	留学生
	☆			ビジネス日本語 I	留学生
		☆		インターンシップ (準備) (報告)	
		☆		ダイレクトマーケティング実践講座	
		☆		野村証券寄付講座	
		☆		全国通運連盟寄付講座	
		☆		日本通運寄付講座	
	☆			キャリアカウンセリング	
			☆	キャリア発展 (文章) (数理)	
	☆			RKU 実践	認定科目

	CP1	CP2	CP3		
1年生	☆			(特) キャリア特講 (基礎)	特別奨学生
	☆			(特) グローバルコミュニケーション (基礎)	特別奨学生
		☆		インターンシップ (海外)	認定科目
		☆		災害ボランティア I II	認定科目
	☆			海外研修	認定科目
			☆	キャリア基礎 (言語) (計算)	
	☆			キャリアマネジメント	
	☆			キャリアデザイン	
☆			RKU 入門	認定科目	

CP1. キャリア形成  
 CP2. 社会・企業研究  
 CP3. 進路支援

# スポーツ健康科学科カリキュラムマップ

DP1. 豊かな人間性と社会性を支える広い教養を身につけるとともに、生命教育を中心としたスポーツ健康科学の学問内容および方法を理解している。(知識)

DP2. 自ら設定した課題について、スポーツ健康科学の学問領域の知識を用いて考察し、自分の考えを口頭表現、文章表現や身体表現によつて的確に伝えることができる。(技能)

DP3. スポーツ健康科学の知を実践の力へと高め、地域社会および国際社会のニーズにこたえることができる。(態度)

	必修科目* <sup>1</sup> (CP1)	(専門基礎科目, CP 5) 早い年次で幅広く学び、進む方向を考える糧にしたい			(専門発展科目・自由科目, CP 6) 資格を取得したり、専門性を高める科目* <sup>2</sup> 早い年次からの計画的な修得が望ましいが、単位の修得状況により変更も可能 以下の5領域から一つ以上の領域を選択して履修する					スポーツ実技科目 (CP 7)
		I	II	III	1. スポーツ教育	2. 競技スポーツ	3. 生涯スポーツ	4. スポーツトレーナー	5. スポーツ教養	
4年	4年演習				教職実践演習 教育実習(高等学校) 教育実習(中学校)			アスレティックトレーナー実習Ⅱ(応用) アスレティックトレーニング理論・実習	スポーツと国際協力	
3年	3年演習 スポーツリーダー実習	スポーツ史 スポーツ教育学	精神保健学	スポーツ技術・戦術論 スポーツ情報戦略・分析論 アダプテッド・スポーツ論	保健体育科教育法Ⅱ 教職特論演習Ⅱ 教職特論演習Ⅲ スポーツ教材研究Ⅲ スポーツ教材研究Ⅳ 教育実習(事前指導) 教育方法学 介護入門(選択)	スポーツ外傷・障害と予防 トレーニング実習 コーチング理論・実習	スポーツ救急理論・実習Ⅱ スポーツ外傷・障害と予防 トレーニング実習 健康産業施設等現場実習 スポーツプロモーション論・実習 ゴルフ実習	スポーツ救急理論・実習Ⅱ リハビリテーション理論・実習Ⅱ(応用) スポーツ外傷・障害と予防 トレーニング実習 ライフセービング実習 アスレティックトレーナー実習Ⅰ(基礎) 機能評価理論・実習 コンディショニング理論・実習Ⅱ(競技別)	スポーツプロモーション論・実習 スポーツと情報処理 スポーツと政治 スポーツとメディア ゴルフ実習	体づくり運動 器械運動 陸上競技 水泳・水中運動
2年	2年演習 スポーツ救急理論・実習Ⅰ	スポーツ人類学 安全教育 スポーツ社会学 スポーツ政策論	スポーツバイオメカニクス 学校保健学 健康教育学 スポーツ生理学	コーチング論 体力トレーニング論 メンタルトレーニング論	学校教育現場実習 保健体育科教育法Ⅰ 教職特論演習Ⅰ スポーツ教材研究Ⅰ スポーツ教材研究Ⅱ 教育相談 教育課程論 生徒指導論 特別活動論 道德教育論	リハビリテーション理論・実習Ⅰ(基礎) コンディショニング理論・実習Ⅰ(基礎) 測定評価理論・実習 スポーツと法	コンディショニング理論実習Ⅰ(基礎) 健康管理学 健康づくりと運動プログラム 測定評価理論・実習 ジョギング・ウォーキング 運動負荷試験 健康づくり施策論	トレーナー概論 リハビリテーション理論・実習Ⅰ(基礎) コンディショニング理論・実習Ⅰ(基礎) 健康管理学 スポーツ栄養学Ⅱ 測定評価理論・実習 機能解剖学Ⅱ	スポーツボランティア論・実習 スポーツと文化 スポーツと法 キャンプ実習 スキー・スノーボード ニュー・スポーツ実習	バスケットボール サッカー ラグビー アメリカンフットボール 野球・ソフトボール バレーボール テニス バドミントン 卓球
1年	1年演習 海浜実習 スポーツ健康科学概論	スポーツ哲学 スポーツマネジメント論 スポーツ心理学	スポーツ医学 衛生・公衆衛生学 機能解剖学Ⅰ スポーツ栄養学Ⅰ	スポーツ運動学 発育発達老化の理論・実習	教育原理 教育社会学概論 教育心理学 教育史 教師論	スポーツ専門英語* <sup>3</sup>	スポーツ専門英語* <sup>3</sup> エアロビックダンス 健康づくりとジョギング エアロビック運動の理論	スポーツ専門英語* <sup>3</sup>	スポーツ専門英語* <sup>3</sup> エアロビックダンス	柔道 剣道 ダンス 新体操

CP1. 「生命の尊厳」と「人間力」を持った人材の育成を特に重視し、必修科目においてこれらの力を創造していく。また、コミュニケーション能力および課題発見・解決能力を育成するため、1年次から4年次まで演習科目を配置する。

CP2. 国際化社会において必須となる外国語によるコミュニケーション能力を育成する科目を配置する。

CP3. 生涯学習のための基礎的知識と、自己表現に向けた能動的な姿勢を育成するキャリア関連科目を配置する。

CP4. 人文科学、社会科学、自然科学に対する理解を深める教養科目を配置する。

CP5. 専門科目では、今日、スポーツ科学を構成している学問を幅広く修得させる。

CP6. 専門発展科目では、発展的かつより専門性を持った科目でカリキュラムを構成する。

CP7. スポーツの競技力向上を図る科目を配置する。

\*1 「情報基礎Ⅰ」を除く必修科目；\*2 専門基礎科目にも資格関連科目が含まれている。資格に必要な科目は履修要項で確認すること；

\*3 外国語の選択必修科目。DP、ディプロマー・ポリシー；CP、カリキュラムポリシー。

# スポーツコミュニケーション学科カリキュラムマップ

- DP1. スポーツ実践において必要となるコミュニケーション能力に関する知識・技能を身につけている人
- DP2. スポーツを通じて学習したコミュニケーション能力を始はじめとする社会的能力を、広く社会で通用する汎用的能力へ転換できる人
- DP3. 「スポーツの力」を理解し、積極的にそれを社会貢献のために活用できる人

- 目指す職業
- コーチインストラクター
- イベント・クラブ運営 地域・国際スポーツ
- 競技団体 メディア・広報
- 公務員 一般企業
- 教員 トレーナー

年次	外国語科目 / キャリア科目 / 教養基礎科目	スポーツ実技科目	学部基礎科目 (CP1)				学科基礎科目 (CP2 / CP6)		学科必修科目 (CP2 / CP4)	専門発展科目 (CP3 / CP4)			専門発展科目 (学際的領域) (CP4)	資格基礎*2 / 発展科目 (教員 / トレーニング指導)
			I	II	III	ゼミ	コミュニケーション (理論)	語学		コミュニケーション (実践)	コーチング (人)	マネジメント (組織)		
4年														
3年														
2年														
1年														

- CP1. 学部の基盤となるスポーツ健康科学の基礎を学修するために、学部必修科目、学部基礎科目を配置する
- CP2. 学科の基盤となるスポーツコミュニケーションの基礎を学修するために、学科必修科目と学科基礎科目を配置する
- CP3. スポーツに関連したコミュニケーションを学修するために、3つの専門領域（マネジメント領域、情報・メディア領域、コーチング領域）を配置する
- CP4. 学科必修科目や専門科目では、課題発見・解決能力、論理的思考力や多様な観点から考察する能力を育むために、演習や実習を重視し、実践を通して体系的に学修できるように年次配当をする。
- CP5. 幅広い教養と豊かな人間性を涵養し、総合的な表現力を培うために、外国語科目、キャリア科目、教養基礎科目を配置する
- CP6. アドベンチャー精神とフォロワーシップ精神を持った人材を養成するために、体育・スポーツ学と、「人と人・組織・社会との関係」を中心としたコミュニケーション論とを関連付けて、総合的に学修できるように、ゼミや学科基礎科目を配置する

\*1 「情報基礎I」を除く必修科目；\*2 学部基礎科目にも資格関連科目が含まれている。資格に必要な科目は履修要項で確認すること；

DP、ディプロマー・ポリシー；CP、カリキュラムポリシー。



# 履修の手引



## 1. セメスター制

本学ではセメスター制を採用しています。セメスター制とは、学年を春学期と秋学期とに分け、基本的にはそれぞれの学期（セメスター）で単位を修得し、卒業にいたる制度です。

## 2. 単位制

単位制とは、「教育課程表」に記載されている科目を履修し、科目ごとに定められている単位を修得して、原則として4年間のうちに、卒業に必要な単位を修得する制度です。

### (1) 単位の計算方法

単位は講義科目を基本として1単位あたり45時間の学修を必要とする内容で構成されています。2単位の授業科目は90時間の学修時間が必要という意味です。この内、1/3は授業時間内の学修に、2/3が授業時間外の予習・復習に当てられています。単位数の多い科目は予習・復習にそれだけ多くの学修時間をかけなければなりません。

### (2) 科目の単位数

科目の単位数は1単位、2単位、4単位のいずれかであり、「教育課程表」に記載されています。授業は基本的に週1回行われ、その授業形態によって、下記のように単位数が決められています。

- 1) 演習：通年の30回の授業で4単位
- 2) 外国語科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位
- 3) 体育科目・スポーツ実技科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位
- 4) 情報科目：各学期（春、秋）15回の授業で2単位
- 5) 講義科目：各学期（春、秋）15回の授業で2単位
- 6) 実習科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位または2単位

## 3. 最高履修単位数

年間の最高履修単位数は1・2学年が44単位、3・4学年が49単位です。

各学期の最高履修単位数は、1・2学年では26単位、3・4学年では28単位です。ただし、1・2学年では年間の最高履修単位数は44単位ですので、片方の学期で26単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は18単位となります。3・4学年では年間の最高履修単位数は49単位ですので、片方の学期で28単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は21単位となります。なお、通年で4単位の科目は春学期2単位、秋学期2単位の履修とみなします。

## 4. 3学年進級に必要な単位数

2学年終了時において、1年演習・2年演習を含め、40単位に達している場合に3学年への進級を認めます。

- ・ 「教育課程表」以外の科目で修得した単位は3学年進級に必要な単位数には含まれません。
- ・ 2年演習の単位を修得できなかった場合でも、1年演習の単位を修得した上で、40単位を満たし

ていれば、3学年へ進級できます。ただし、経営学科は除きます。

なお、卒業までに2年演習の単位を修得しなければなりません。

## 5. 卒業

### (1) 修業年限

4年以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生は、「卒業」となります。卒業に必要な所定の単位が修得できずに4年の在学年数を超えて在籍する学生は、卒業に必要な単位を修得した学期で卒業となります。が、履修登録時に届出をすることにより、卒業に必要な単位を修得した学期で卒業することもできます。なお、卒業に必要な単位を満たした上で4年を超えて在学することはできません。

### (2) 学位

卒業した学生には、次の区分に従い「卒業証書・学位記」を授与します。

学部	学科	学位
経済学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
社会学部	社会学科	学士（社会学）
	国際観光学科	学士（社会学）
流通情報学部	流通情報学科	学士（流通情報学）
法学部	ビジネス法学科	学士（法学）
	自治行政学科	学士（法学）
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	学士（スポーツ健康科学）
	スポーツコミュニケーション学科	学士（スポーツ健康科学）

### (3) 副専攻

経済学科では、副専攻に関する所定の要件を満たした学生に対して、卒業時に「副専攻」を修了した旨を認定します。

### (4) 卒業発表

卒業発表は、毎年3月および9月に行います。

### (5) 卒業式

卒業が決定した学生は、卒業式に出席し、学生証と引き換えに「卒業証書・学位記」を受け取ってください。

## 6. 科目の履修

科目の履修に際しては、教室で授業を受けるだけでなく、シラバスや教室での指導に基づいて自主的に予習・復習をしてください。また、指定された参考図書などについても学習してください。



## (1) 科目の区分

各学年の学生が履修すべき科目は、「教育課程表」に記載されています。

**必修科目**：非常に重要度の高い科目であり、指定された学年に必ず履修しなければならない科目です。

指定された学年で修得できなかった場合には、原則として次年度に必ず履修しなければなりません。

**選択必修科目**：必修科目に次いで重要度の高い科目であり、教育課程表の区分欄に記されている条件を満たすように科目を選択して、履修しなければならない科目です。

**選択科目**：必ず履修しなければならない科目ではなく、自由に選択して履修することができる科目です。修得した単位は卒業単位に算入されます。

**自由科目**：成績表には記載されますが、修得した単位が卒業単位には算入されない科目です。また、各学年の最高履修単位数にも算入されません。ただし、スポーツ健康科学部の開講科目を他学部から自由科目として履修することはできません。

## (2) 履修登録（事前登録）

科目の履修にあたっては、事前に登録をしなければなりません。この登録が完了した時点で、科目の履修が確定し、各自の時間割が決定します。ただし、一部、登録が必要でない科目もあります。

- 1) 各科目の時間割、担当教員等については、3月に発表します。履修ガイダンスに出席し、各自であらかじめ履修したい科目を決めておき、定められた期間に履修登録を行ってください。
- 2) 指定された期間に履修登録手続を怠った場合や誤った登録をした場合、その年度の履修は無効となります。
- 3) 履修登録は、Ring（RKU Interchange for Groups）で行います。

## 7. 単位の修得

- 1) 履修登録した科目に対してのみ単位の修得が認められます。未登録科目を履修しても単位は修得できません。ただし、別に定めるところにより、単位の修得を認めることがあります。
- 2) 履修登録した科目について、「S・A・B・C」いずれかの成績評価が付与された場合に、当該科目の単位の修得が認められます。また、単位が認定された場合には、「R」が付与され、単位の修得が認められます。なお、「D」（不合格）または「/」（評価不能）が付与された場合には、当該科目の単位の修得は認められません。
- 3) 単位は学期（春・秋）ごとに与えられます。通年科目の単位は春学期および秋学期の成績を総合して付与されます。通年科目は片方の学期だけ履修しても単位は修得できません。
- 4) 単位を修得できなかった科目については、再履修してください。ただし、必修科目以外の科目については、別の科目を選択し、履修しても構いません。
- 5) 一度単位を修得した科目（成績の付与された科目）については、再度履修して単位を取り直すことはできません。

## 8. 休講と補講

休講の案内は Ring で行います。休講となった場合には補講が行われます。補講は原則として、当該授業のある曜日の5時限または土曜日の午前・午後（龍ヶ崎キャンパス）、6時限または土曜日の午後（新松戸キャンパス）に行われます。補講の詳細については、Ring に掲載します。

## 9. 出席調査

授業では出席を調査します。出席調査はパソコン・スマートフォン・携帯電話、出席カードや提出物等により行います。インターネットや Wi-Fi に接続できるパソコン・スマートフォン・携帯電話等を準備してください。

## 10. 災害時の授業

台風や大雪、あるいは地震などにより大きな災害が発生した場合には、電車やバス等の公共交通機関が運行できなくなる事態が予測されます。その場合には、その都度、授業を実施するか否かを発表しますので、各自、以下の方法で確認してください。

- 1) Ring <https://ring.rku.ac.jp/>
- 2) 災害時連絡ダイヤル 0297-64-0009

## 11. 試験

### (1) 定期試験試験に関する注意事

- 1) 定期の試験として、春学期試験と秋学期試験があります。

春学期試験 7月下旬～8月上旬（約2週間）

秋学期試験 1月下旬～2月上旬（約2週間）

- 2) 試験時間割と注意事項は各試験の1週間前までに Ring に掲示しますので、各自で確認してください。

### (2) 試験に関する注意事項

- 1) 学生証は必ず携帯し、試験監督者が見やすい場所（机の上）に常に置いてください。学生証を提示しない者は受験できません。学生証を忘れた者は学生生活課（龍ヶ崎）・学務課（新松戸）で、一日有効の仮学生証（有料）を発行してもらい受験してください。
- 2) 遅刻は試験開始後20分以内に限り認めます。ただし、試験時間は延長しません。
- 3) 試験場からの退場は試験開始後30分以内は許可しません。
- 4) 試験中は携帯情報端末等（携帯電話・スマートフォン・通信機能付き電子辞書等）の電源を切り、カバン、バッグなどの中に入れておいてください。時計・辞書の代わりにはできません。
- 5) 試験場における行動はすべて試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は不正行為となります。
- 6) 試験中（定期試験および定期試験以外）に不正行為があった場合には、「試験規則」第8条により処置します。不正行為とは、次のような行為です。

- ・他の学生の答案を見ること。
- ・他の学生とコミュニケーション（話、目くばせなど）をとること。
- ・カンニング・ペーパーを持ち込み、それらを見ること。
- ・許可されていないコピー、テキストなどを持ち込み、それらを見ること。
- ・通信機器を用いて外部と連絡をとること。
- ・あらかじめ机に試験に関する事項を書いておき、それらを見ること。
- ・本人以外の者が代理で受験をすること。
- ・他の学生と物品の貸し借りをすること。
- ・答案用紙を教室外に持ち出すこと。
- ・その他、適正な成績評価を妨げる行為を行うこと。

### (3) 追試験

定期試験に欠席した場合には、「試験規則」第4条、第5条により、追試験を願い出ることができません。追試験の願い出は欠席した試験が行われた日から起算して7日以内に行わなければなりません。できるだけ早い時期に必要な公的証明書などを添付して、教務課・学務課に申し出てください。入院等により登校できない場合には、教務課・学務課に電話連絡をして指示を受けてください。

### (4) 再試験

再試験は原則として行いません。ただし、卒業該当年次生で、卒業に必要な単位が不足する学生に対して、次の要件をすべて満たす場合に限り、再試験の受験を認めることがあります。

- 1) 卒業に必要な単位数が不足する場合、その不足科目が4科目以内であること。ただし、5年以上在籍した学生の卒業に必要な単位数が不足する場合には、その不足科目が6科目以内であること。
- 2) 卒業年次に履修登録が行われている科目であること。
- 3) 出席不良等の理由で評価不能「/」とされた科目でないこと。
- 4) 本人の申請があること。

### (5) レポート提出に関する注意事項

担当教員の指示によりレポートを提出するときは、次の事項に注意してください。

- 1) 指示した期限までに指定場所に提出してください。期限後の提出は無効となります。
- 2) 特別の指示のない限り、A4版の用紙を使用し、とじてください。表紙には、科目名、担当教員名、課題、学生番号および氏名を黒インクで明記してください。

## 12. 不正行為

試験、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正をしてはいけません。試験中に不正行為があった場合は「試験規則」第8条により処置します。また、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正があった場合は「試験規則」第8条に準じて処置することがあります。

### 13. 成績評価

- 1) 成績は、授業科目ごとに行う試験（筆記試験、論文、レポート、口述試験、実技テスト）およびその他担当教員の指定する方法によって評価されます。成績評価方法は、シラバスに記載されています。
- 2) 成績は 100 点法によって評価され、60 点以上を合格とし、下表の基準に従って単位が与えられます。また、単位が認定された場合も単位が与えられます。

合格	「S」90点以上	「A」80～89点	「B」70～79点	「C」60～69点
不合格	「D」59点以下 「／」（評価不能）			
単位認定	「R」			

- 3) 成績表は各学期終了後に交付します。ただし、通年科目はその学年終了後に交付します。
- 4) 成績表は各学期終了後に保証人（父母）宛に郵送します。また、Ring にも提示されます。
- 5) 成績に関して質問のある学生は、「成績確認願」を教務課・学務課に提出し、その成績の確認を求めることができます。

### 14. GPA

本学では、GPA（グレード・ポイント・アベレージ：履修科目の成績の平均値）を算出する制度を定めています。GPAは、学生の学習意欲を高めるとともに、本学が掲げる教育の質の保証についての具体化を進め、適切な修学指導に資することを目的としています。

#### (1) GPAの算出方法

GPAは、GPA対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にグレードポイント（4、3、2、1、0のいずれか）をかけ、その合計ポイントを単位数の総和で割ったものとなります。

#### (2) グレードポイント

成績評価に対するグレードポイントは下表の通りです。

評価	グレードポイント
S	4
A	3
B	2
C	1
D	0
／	0
R	適用除外

#### (3) GPA対象授業科目と適用除外科目

適用除外科目を除くすべての授業科目がGPAの対象となります。

以下の科目は適用除外科目です。これらの科目にはグレードポイントが付加されず、修得単位や成績はGPAの計算には使用しません。

1. 教育課程表にある科目に関する単位認定科目
2. 編入学または転入学した際の単位認定科目
3. 本学入学前に修得した単位認定科目
4. 他大学との単位互換等で修得した科目

#### (4) GPAの活用

GPAは、本学大学院の内部推薦基準、特別奨学生の採用基準、また学修指導や退学勧告の資料として利用されます。

#### 15. 他キャンパス受講

原則として週1日に限り、他キャンパスで開講される科目の受講を認めることがあります。他キャンパス受講を希望する学生は、履修登録時に教務課・学務課に申請してください。

#### 16. キャンパス変更

所定の要件を満たした場合に限り、所属するキャンパスの変更を認めることがあります。キャンパス変更を希望する学生は、教務課・学務課に申請してください。ただし、スポーツ健康科学部は除きます。

#### 17. 演習の履修

基本科目の演習には、1年演習、2年演習、3年演習、4年演習があります。演習の各クラスは通称「ゼミ」とよばれており、原則として全学年・全員がゼミに所属します。

##### 1) 1年演習

1つのゼミを20名程度で編成し、所属するゼミは入学時に指定します。1年演習の未修得者は3学年に進級できません。

##### 2) 2年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。2年演習の選択は、1学年の秋学期に行います。各ゼミの指導計画を選択申込の前に発表しますので、それらを熟読の上、自由に選択してください。また、相談期間を設けますので、希望するゼミの担当教員に相談することもできます。ゼミによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、面接やレポートなどにより、担当教員が履修者を選考することがあります。第1希望のゼミに入れなかった場合には、2回目の選択申込により、定員に満たないゼミの中から、履修するゼミを決定します。

##### 3) 3年演習・4年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。3学年、4学年を通じて、同じ教員のゼミを履修します。ゼミの選択は、2学年の秋学期に行います。ゼミの決定方法は、上記の2年演習の場合と同様です。3年演習と4年演習は原則として同一学年で履修することができません。演習の単位を修得できなかった場合には留年となります。

## 18. 単位の認定

大学の正規の授業以外に、学生のキャリア開発に関連する諸活動や公的機関による資格・検定試験の合格などに、教育課程表にある未修得の科目を履修したものとして単位を認定します。なお、各検定試験の合格証明書は申請日から過去3年間のものを有効とします。これらについての履修登録は必要なく、それぞれの認定要件を満たした段階で申請すると、単位が認定されます。認定される単位数は合計で60単位までです。また、認定された単位数（スポーツトレーニング実技を除く）は、学年別の最高履修単位数には含まれません。

### (1) 外国語科目の単位認定

公的な機関による下の表に記した検定試験などで基準点以上の成績を修めた者が、所定の手続きを経て、その合格証（成績表・認定証など）を提出した場合には、教育課程表にある外国語科目を履修したものとみなし、その単位を認定します。

#### 認定科目と試験の種類

			1単位認定	2単位認定	4単位認定	6単位認定	8単位認定
英語	英語検定	日本英語検定協会	準2級	2級	準1級		1級
英語	TOEIC L&R	ETS	400点以上	450点以上	550点以上		700点以上
英語	TOEIC Bridge L&R	ETS	150点以上				
英語	TOEFL	ETS		450点以上	500点以上		550点以上
英語	TOEFL IBT	ETS		45点以上	61点以上		79点以上
中国語	中国語検定	日本中国語検定協会		準4級	4級		3級以上
中国語	漢語水平考試	漢語水平考試委員会		2級以上	4級	5級	6級以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定	ドイツ語学文学振興会		4級	3級		2級以上
フランス語	フランス語技能検定	フランス語教育振興協会		4級	3級		2級以上
スペイン語	スペイン語技能検定	日本スペイン協会		6級	5級以上		3級以上
日本語	日本語能力	日本国際教育支援協会	2級、N2	1級、N1			
日本語	JTEST 実用日本語検定	日本語検定協会	600点以上	700点以上			
日本語	日本留学	日本学生支援機構		260点以上			

- ・ TOEIC および TOEFL の基準点は変更する場合があります。
- ・ TOEIC には「一般公開テスト」(SP) と「団体特別受験」(IP) の2種類があります。
  - \* 「一般公開テスト」がいわゆる TOEIC で、TOEIC 運営委員会とアメリカの公的機関である ETS (Educational Testing Service) により正式な認定証が発行されます。
  - \* 「団体特別受験」は各企業・大学が責任をもって実施する試験で、正式な認定証は発行されません。ただし、TOEIC 運営委員会と実施団体による認定証は発行されます。
  - \* 本学では、「一般公開テスト」「団体特別受験」のどちらのスコアでも単位認定の対象とします。
  - \* TOEIC Bridge は形式の変更に伴い、単位認定の基準点を 2019 年度以前に受験した場合は 150 点以上、2020 年以降に受験した場合は 80 点以上とします。

1) 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時まで申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時まで申請があった場合は春学期に行います。

- 2) 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時まで申請してください。
- 3) 同一の外国語で複数の試験・級に合格した場合は、最上位の試験・級のみが単位認定の対象となります。すでに異なる試験・級・得点により単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は、認定済みの単位数を減じた単位数です。
- 4) 認定を受けられる単位数は、最高で8単位です。
- 5) 認定される外国語科目は学部により異なりますので、教務課・学務課にて確認してください。
- 6) 日本語の単位認定を行う場合は、外国語科目の「日本語」各科目のほか、キャリア科目の「(外)ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ」も認定科目の対象となります。

## (2) スポーツトレーニング実技の単位認定

重点部に所属する学生について、課外活動状況により「選択スポーツトレーニング実技」を履修したものとみなし、その単位を認定します。ただし、スポーツ健康科学部は除きます。

- 1) 対象学生は、ラグビーフットボール部、剣道部（男・女）、柔道部、サッカー部、陸上競技部（長距離）、アメリカンフットボール部、硬式野球部に所属する学生（マネージャーは除く）です。
- 2) 単位認定を希望する学生は、所定の申請書を作成し、所属する部に提出してください。各部で集約した申請書は、体育指導センターを通して、教務課へ提出されます。
- 3) 単位の認定は、①重点部の活動状況、②部活動への出席状況、③部の練習態度、④部の戦績などをチェックして、体育指導センターが原案を作成し、教授会の議を経て決定します。
- 4) 1学年の春学期に1単位、秋学期に1単位を認定します。1学年で認定されなかった場合には、それ以降の学年で単位認定を申請することができます。

## (3) 外国留学

本学の「留学に関する規則」に基づき、外国留学をした学生（外国人留学生を除く）に、留学中の学修内容を審査した上で、教育課程表にある科目の単位認定を行います。

- 1) 外国留学を希望する学生は、留学2ヶ月前までに「留学願」を学長に提出し、国際交流センターの承認を受けてください。
- 2) 単位認定を希望する学生は、留学先からの「出席状況および成績に関する証明書」、「修了証」等を添付し、「単位認定願」を学長に提出してください。
- 3) 単位の認定は、国際交流センターの小委員会が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。
- 4) 留学期間中の「演習」については、担当教員と留学者がインターネット等を利用しながら、相互に緊密な連絡を取り合ってください。担当教員は留学者に対して必要な教育、指導を行い、単位を付与します。演習の単位は認定単位には含めません。
- 5) 外国留学をした学生には、「海外研修」（2単位）の単位認定も行われます。

#### (4) キャリア科目の単位認定

キャリア科目のうち、「RKU入門」、「RKU実践」、「海外研修」、「災害ボランティアⅠ・Ⅱ」、「インターンシップ（海外）」は認定科目です。

##### 1) RKU 入門

入学直後に行われる導入教育を受講した学生に「RKU入門」の単位を認定します。

- ① 単位の認定は、RKU WEEK 期間内のゼミ、ガイダンスなどの各種講座の受講、その他の関連した授業の受講を前提に、ゼミ担当教員が行います。
- ② すべての学生が履修することを原則とします。
- ③ 1学年の春学期に1単位を認定します。

##### 2) RKU 実践

日常のボランティア活動に対して、所定の要件を満たした場合に単位を認定します。

- ① 対象となるボランティア活動は、大学が認める無報酬の活動です。
- ② 活動の3週間前に「RKU 実践活動届」を教務課・学務課に提出してください。
- ③ ボランティア活動の実働3時間を1ポイントとし、合計15ポイントで1単位認定します。ただし、1日2ポイントまでとし、単位認定は在学中1回限りです。
- ④ ボランティア活動参加者は、参加のつど「RKU 実践活動報告書」を別途定める証明部門に提出し、「RKU 実践活動証明書」を受け取り保管しておきます。
- ⑤ 単位認定を希望する場合は、「RKU 実践単位申請書」に15ポイント分の「RKU 実践活動証明書」を添えて学務課・教務課へ提出してください。
- ⑥ 単位認定は、秋学期定期試験終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験終了時までには申請のあった場合は春学期に行います。

##### 3) 海外研修

「留学に関する規則」に基づき、「海外研修」2単位を認定します。

##### 4) 災害ボランティアⅠ・Ⅱ

東日本大震災などの災害発生に関する災害ボランティア活動の参加者に対して、その活動が所定の要件を満たす場合に単位を認定します。

- ① 災害ボランティア活動が45時間相当の場合は1単位、90時間相当の場合は2単位を認定します。
- ② 単位認定を希望する場合は、事前に学生生活課へ「災害ボランティア活動届」を提出し、活動終了後「災害ボランティア単位認定申請書」に「ボランティア活動日誌」「ボランティア活動証明書」（受け入れ機関・団体の証明）を添えて学務課・教務課へ提出してください。

##### 5) インターンシップ（海外）

国際交流センターにおいて定める「海外におけるインターンシップ」に参加した学生に、「インターンシップ（海外）」2単位を認定します。詳細については、~~別途指定~~します。

#### (5) 資格取得

大学が指定した資格・検定試験に合格した者に単位を認定します。



- ① 資格・検定試験の種類により、資格・検定試験に該当する科目を認定します。
- ② 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものには、次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までには申請があった場合は春学期に行います。
- ③ 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までには申請してください。
- ④ 卒業単位として認められる単位は最大 20 単位です。
- ⑤ 単位を認定する科目と資格・検定試験は表の通りです。なお、年度によって変更となる場合があります。

単位数	資格名	認定科目 優先1	認定科目 優先2	認定科目 優先3	認定科目 優先4	認定科目 優先5
1 単位	秘書技能検定準1級	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)	
	秘書技能検定1級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)	
	簿記検定2級	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(教理)	キャリア基礎(文章)	キャリア発展(文章)	
	販売士2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)	
	日商PC(文書作成)3級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(言語)	キャリア発展(教理)	
	日商PC(データ活用)3級	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(教理)	キャリア基礎(文章)	キャリア発展(文章)	
	日商PC(フレイズ資料作成)3級	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(教理)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	MOS(スペシャリストレベル)/MCAS(Microsoft)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(教理)	キャリア基礎(文章)	キャリア発展(文章)	
	MOS(スペシャリストレベル)/MCAS(Excel)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(教理)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	
	漢字検定準2級	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(教理)	
2 単位	宅建物件引士	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)	(外) ビジネス日本語 I
	簿記検定1級	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(教理)	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	(外) ビジネス日本語 II
	販売士1級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)	※ 留學生のみ対象
	簿記検定2級	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(教理)	キャリア基礎(文章)	キャリア発展(文章)	
	国内旅行業務取扱管理者	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)	
	福祉住環境コーディネーター2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)	
	日商PC(文書作成)2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)	
	日商PC(データ活用)2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)	
	日商PC(フレイズ資料作成)2級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)	
	経済学検定(ミクロ・マクロ)Aランク	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)	
ファイナンシャル・プランニング技能検定3級	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)		
ITパスポート	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(教理)		
簿字検定2級	キャリア基礎(言語)	キャリア発展(文章)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(教理)		
トットコムマスタージャブパスシングルスター	キャリア基礎(言語)	キャリア基礎(計算)	キャリア発展(文章)	キャリア発展(教理)		

単位数	資格名	認定科目 優先1 (注1)	認定科目 優先2	認定科目 優先3
4 単位	経済学科	社会保険論Ⅱ、労働経済論Ⅱ、労働経済論Ⅲ、労働経済論Ⅳ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ		
	法学部	労働法Ⅰ、労働法Ⅱ、社会保険論Ⅰ、社会保険論Ⅱ、法學特講講義		
	上記以外	キャリアスキルA(教理)Ⅰ、キャリアスキルA(教理)Ⅱ		
	法学部	法律専門職特講講義(行政書士)Ⅰ、法律専門職特講講義(行政書士)Ⅱ、法律特講講義、キャリアスキルB(時事・教義)、法律実務研究		
	上記以外	法律専門職特講講義(行政書士)Ⅰ、法律専門職特講講義(行政書士)Ⅱ、法學特講講義、キャリアスキルB(時事・教義)、法律実務研究		
	法学部	法學特講講義、キャリアスキルB(時事・教義)、法律実務研究		
	上記以外	法學特講講義、キャリアスキルB(時事・教義)、法律実務研究		
	経営学科	財務会計論Ⅰ、財務会計論Ⅱ、管理会計論Ⅰ、管理会計論Ⅱ		
	法学部	会計学Ⅰ、会計学Ⅱ、キャリアスキルA(教理)Ⅰ、キャリアスキルA(教理)Ⅱ		
	上記以外	財務会計論Ⅰ、財務会計論Ⅱ、管理会計論Ⅰ、管理会計論Ⅱ		
(注1) (注2)	経済学科	簿記論Ⅰ、簿記論Ⅱ、キャリアスキルA(教理)Ⅰ、キャリアスキルA(教理)Ⅱ		
	法学部	簿記論Ⅰ、簿記論Ⅱ、キャリアスキルA(教理)Ⅰ、キャリアスキルA(教理)Ⅱ		
	上記以外	簿記論Ⅰ、簿記論Ⅱ、キャリアスキルA(教理)Ⅰ、キャリアスキルA(教理)Ⅱ		
	流通情報学部	貿易実務論Ⅰ、貿易実務論Ⅱ、グローバル・ロジスティクス論Ⅰ、グローバル・ロジスティクス論Ⅱ		
	法学部	国際ビジネス法、物流関係法、法學特講講義、キャリアスキルA(教理)Ⅰ、キャリアスキルA(教理)Ⅱ、法律実務研究		
	上記以外	貿易実務論Ⅰ、貿易実務論Ⅱ、グローバル・ロジスティクス論Ⅰ、グローバル・ロジスティクス論Ⅱ、国際ビジネス法、物流関係法、法學特講講義、キャリアスキルA(教理)Ⅰ、キャリアスキルA(教理)Ⅱ、法律実務研究		
	国際観光学科	観光キャリアケーススタディ、旅行流通システム論		
	上記以外	観光キャリアケーススタディ、旅行流通システム論		
	流通情報学部	アルゴリズム論、通信・ネットワーク概論、ソフトウェア設計論、情報倫理		
	上記以外	アルゴリズム論、通信・ネットワーク概論、ソフトウェア設計論、情報倫理		
総合旅行業務取扱管理者	経済学科	社会保険論Ⅰ、社会保険論Ⅱ、財政学Ⅰ、財政学Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ		
	法学部	商法(保険法)、金融取引法、キャリアスキルA(教理)Ⅰ、キャリアスキルA(教理)Ⅱ、キャリアスキルB(時事・教義)		
	上記以外	社会保険論Ⅰ、社会保険論Ⅱ、財政学Ⅰ、財政学Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ、商法(保険法)、金融取引法、キャリアスキルA(教理)Ⅰ、キャリアスキルA(教理)Ⅱ、キャリアスキルB(時事・教義)		
	経済学科	ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ		
	法学部	ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、キャリアスキルA(教理)Ⅰ、キャリアスキルA(教理)Ⅱ		
	上記以外	ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ、ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、国際経済論Ⅰ、国際経済論Ⅱ		
	経済学科	ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ		
	法学部	ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、キャリアスキルA(教理)Ⅰ、キャリアスキルA(教理)Ⅱ		
	上記以外	ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ、ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、国際経済論Ⅰ、国際経済論Ⅱ		
	上記以外	ミクロ経済学Ⅰ、ミクロ経済学Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ、マクロ経済学Ⅱ、公共経済学Ⅰ、公共経済学Ⅱ		

(注1) 特別奨学生が認定を受ける際は、学科が指定した科目から選択する。

(注2) 特別奨学生以外の学生が認定を受ける際は、学生自身の学習・受講により、表内から選択する。

(注3) 学科指定科目の枠内における適用額は、上に記載の科目からとすることができ、学生自身の学習・受講により選択することができる。

## (6) 法学関連科目の単位認定

法学検定およびビジネス実務法務検定試験に合格した学生に、下記の通り単位の認定をします。

- 1) 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までには申請があった場合は春学期に行います。
- 2) 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までには申請してください。
- 3) 法学部の学生については、下の表に示した科目から認定します。また、法学部以外の学生については、選択科目の法学関連の科目から認定します。
- 4) 同一の検定試験で複数の級に合格した場合には、上位の級のみが単位認定の対象となります。異なる級の合格によりすでに単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は認定済みの単位数を減じた単位数です。
- 5) 認定を受けられる最高単位数は総計8単位です。

	認定単位数			認定科目
	4単位	6単位	8単位	
法学検定 (財)日弁連法務研究財団 (社)商事法務研究会	ベーシック 〈基礎〉コ ース	スタンダー ド〈中級〉 コース	アドバンス ト〈上級〉 コース	法学特殊講義 法律実務研究 スポーツと法（各科目） 法と文化（各科目）
ビジネス実務法務検定 東京商工会議所	3級	2級	1級	

## 19. 「コーチング」科目

各スポーツ教材研究および各種目別コーチング科目の履修希望者は、当該科目を履修する前年もしくは、履修当該年度の春学期までに各実技科目を履修していることが望ましい。

## 20. 資格の取得

### (1) 教員免許

スポーツ健康科学科とスポーツコミュニケーション学科では中学校一種（保健体育）および高等学校一種（保健体育）の教員免許を取得することができます。別冊「教職課程履修の手引き」を参照してください。

### (2) 公益財団法人 健康・体力づくり事業財団公認「健康運動指導士」

健康運動指導士とは、個人の体力や生活に応じて、安全で効果的な運動プログラムを作成および指導するとともに、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の概念に着目し、糖尿病等の有病者・予備群の減少に向け、本格的な生活習慣病予防対策を推進するための資格です。高齢化社会を目前にして、国民の健康の維持・増進は国家の課題ともいえ、健康運動指導士の需要はますます高まっています。

健康運動指導士の資格をとるには、下記の表にある科目の単位を修得し、かつ、公益財団法人 健

康・体力づくり事業財団が実施する認定試験に合格しなければなりません。

在学中に受験した場合は、卒業後何回でも受験することができます。しかし、在学中に受験しなかった場合、卒業後4年間受験資格は認められていますが、4年以上経過すると受験資格が消失します。

#### 《健康運動指導士関係科目一覧》

No.	科目名	単位数	No.	科目名	単位数
1	健康づくり施策論	2	11	トレーニング実習	1
2	健康管理学	2	12	水泳・水中運動	1
3	健康教育学	2	13	ジョギング・ウォーキング	2
4	スポーツ生理学	2	14	健康産業施設等現場実習	1
5	機能解剖学Ⅰ	2	15	スポーツ救急理論・実習Ⅱ	2
6	スポーツバイオメカニクス	2	16	健康づくりと運動プログラム	2
7	体力トレーニング論	2	17	運動負荷試験	2
8	スポーツ外傷・障害と予防	2	18	発育発達老化の理論・実習	2
9	測定評価理論・実習	2	19	スポーツ心理学	2
10	エアロビック運動の理論	2	20	スポーツ栄養学Ⅰ	2

コミュニケーション学科の学生は、教育課程表に「1 健康づくり施策論」「17 運動負荷試験」が無い場合、履修登録の際には窓口にて申込手続きを行ってください。

#### (3) 日本赤十字社「赤十字ベーシックライフサポーター（基礎講習）」と「赤十字救急法救急員」

日本赤十字社が「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づいて認定している2つの資格が取得できます。基礎講習では、手当の基本、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動などを習得できます。赤十字救急法では、日常生活における事故防止や止血の仕方、包帯の使い方、骨折などの場合の固定、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を習得できます。

いずれの資格を取得するためには、下記の表にある科目の単位を取得し、かつ、検定試験を受けて合格しなければなりません。

#### 《日本赤十字社救急法救急員関係科目一覧》

No.	科目名	単位数
1	スポーツ救急理論・実習Ⅰ	2

#### (4) 公益財団法人 健康・体力づくり事業財団公認「健康運動実践指導者」

健康づくりのための運動指導者に与えられる称号の一つで、医学的基礎知識、運動生理学の知識、健康づくりのための運動指導の知識、技術等を持ち、健康づくりを目的として作成された運動プログラムに基づき、ジョギング、エアロビックダンス、水泳及び水中運動等のエアロビック・エクササイズ、ストレッチング、筋力、筋持久力トレーニング等の補強運動の実践指導を行うことができると認められる方に与えられます。

健康運動実践指導者の資格を取得するためには、下記の表にある科目の単位を修得し、かつ、公益財団法人 健康・体力づくり事業財団が実施する認定試験に合格しなければなりません。なお、**在学中に受験しないと受験資格を失います。**

《健康運動実践指導者関係科目一覧》

No.	科目名	単位数	No.	科目名	単位数
1	健康管理学	2	11	健康づくり施策論	2
2	スポーツ生理学	2	12	エアロビックダンス	1
3	機能解剖学Ⅰ	2	13	水泳・水中運動	1
4	スポーツバイオメカニクス	2	14	ジョギング・ウォーキング	2
5	発育発達老化の理論・実習	2	15	コンディショニング理論・実習Ⅰ(基礎)	2
6	スポーツ栄養学Ⅰ	2	16	トレーニング実習	1
7	健康づくりと運動プログラム	2	17	体づくり運動	1
8	スポーツ心理学	2	18	測定評価理論・実習	2
9	スポーツ医学	2	19	スポーツ救急理論・実習Ⅱ	2
10	スポーツ外傷・障害と予防	2			

(5) 公益財団法人 日本スポーツ協会「公認スポーツ指導者」

日本スポーツ協会は、国民のスポーツ振興と競技力向上にあたる各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上をはかり、指導活動の促進と指導体制を確立、総合型地域スポーツクラブでのスタッフの育成を図るため、「(公)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度」を制定しています。

将来、スポーツ指導者、トレーナー、総合型地域スポーツクラブでのスタッフ等を目指す学生は、日本スポーツ協会資格一覧の資格を取得することが望まれます。

本学が提供するカリキュラムにおいて、所定の単位を収めた学生は「共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の修了証明書および「スポーツリーダー」の資格を取得できます。「共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の「修了証明書」があると、今後、公認スポーツ指導者資格を取得する際に、受講及び試験が免除されます。

これらの申請は、**卒業年次のみ**にしか受け付けることができません。卒業後の申請は、いかなる理由であれ認められませんので、注意してください。

なお、アスレティックトレーナーの資格取得を目指す学生は、必ず申請するようにしてください。申請には、別途申請料を徴収します。

## 《日本スポーツ協会資格一覧》

### スポーツ指導基礎資格

(h=時間)

資格	内容	要件
スポーツリーダー	・地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる。	共通I

### 競技別指導者資格

資格	内容	要件
指導員	・地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたる。	共通I 専門:40h以上
上級指導員	・地域スポーツクラブ等において、年齢、競技レベルに応じた指導にあたる。 ・事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。	共通I+II 専門:20h以上
コーチ	・地域において、競技者育成のための指導にあたる。 ・広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。	共通I+II+III 専門:60h以上
上級コーチ	・ナショナルレベルのトレーニング拠点において、各年代で選抜された競技者の育成強化にあたる。	共通I+II+III+IV 専門:40h以上
教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う。	共通I+II+III 専門:80h以上
上級教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として質の高い実技指導を行う。 ・会員（顧客）が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。	共通I+II+III+IV 専門:60h以上

### フィットネス系資格

資格	内容	要件
ジュニアスポーツ指導員	・地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行う。	共通I 専門:40h
スポーツプログラマー	・主として青年期以降のすべての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。	共通I+II 専門:63h

### メディカル・コンディショニング系資格

資格	内容	要件
アスレティックトレーナー	・スポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等にあたる。	共通I+II+III 専門:600h
スポーツ栄養士	・スポーツ活動現場において、競技者の栄養・食事に関する専門的なサポートにあたる。 ・競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高める栄養教育を行う。	共通I+II+III 専門:116.5h

### マネジメント資格

資格	内容	要件
アシスタントマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブマネジメントのための諸活動をサポートする。	共通I 専門:35h
クラブマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。	共通I 専門:167.5h

## (6) 特定非営利活動法人 日本トレーニング指導者協会「トレーニング指導者」

トレーニング指導者の資格を取得するためには、下記の表にある科目の単位を修得し、かつ、特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会が実施する認定試験に合格しなければなりません。

### 《トレーニング指導者関係科目一覧》

No.	科目名	単位数	No.	科目名	単位数
1	体力トレーニング論	2	8	スポーツ心理学	2
2	トレーニング実習	1	9	スポーツ救急理論・実習Ⅰ	2
3	測定評価理論・実習	2	10	スポーツ外傷・障害と予防	2
4	機能解剖学Ⅰ	2	11	健康教育学	2
5	スポーツバイオメカニクス	2	12	コーチング論またはコーチング概論	2
6	スポーツ生理学	2	13	コンディショニング理論・実習Ⅰ(基礎)	2
7	スポーツ栄養学Ⅰ	2			

※本資格取得のためには、日本赤十字社「救急法救急員」(前出(3))の資格を取得していることが必要です。「救急法救急員」の資格を取得するためには、「スポーツ救急理論・実習Ⅰ」を履修し、試験に合格する必要があります。

## (7) 公益社団法人 日本キャンプ協会公認「キャンプインストラクター」

これはスポーツ健康科学科でのみ取得できる資格です。

キャンプインストラクターは、キャンプでの活動(アクティビティ)を指導できる能力を持った指導者で、基礎的な知識、技術、考え方を習得し、キャンプの場面でその能力を発揮する指導者です。また、この資格はキャンプディレクター2級、1級へステップアップするための基礎資格となります。

### 《キャンプインストラクター科目一覧》

No.	科目名	単位数
1	キャンプ実習	1

## (8) 公益財団法人 日本スポーツ協会「アスレティックトレーナー」

アスレティックトレーナーはスポーツ健康科学科でのみ取得できる資格です。

この資格を取得するためには、下記の表にある科目の単位を修得し、かつ、公益財団法人日本スポーツ協会が実施する検定試験に合格しなければなりません。

No.	科目名	単位数	No.	科目名	単位数
1	トレーナー概論	2	13	体づくり運動	1
2	体力トレーニング論	2	14	コンディショニング理論・実習Ⅰ(基礎)	2
3	スポーツバイオメカニクス	2	15	コンディショニング理論・実習Ⅱ(競技別)	2
4	スポーツ生理学	2	16	リハビリテーション理論・実習Ⅰ(基礎)	2
5	スポーツ心理学	2	17	リハビリテーション理論・実習Ⅱ(応用)	2
6	機能解剖学Ⅰ	2	18	アスレティックトレーニング理論・実習	2
7	機能解剖学Ⅱ	2	19	スポーツ栄養学Ⅱ	2
8	スポーツ外傷・障害と予防	2	20	スポーツ救急理論・実習Ⅰ	2
9	スポーツ医学	2	21	スポーツ救急理論・実習Ⅱ	2
10	健康管理学	2	22	アスレティックトレーナー実習Ⅰ(基礎)	1
11	測定評価理論・実習	2	23	アスレティックトレーナー実習Ⅱ(応用)	1
12	機能評価理論・実習	2		合計 23科目 43単位	



※ 本資格取得のためには、日本赤十字社「救急法救急員」(前出(3))の資格を取得していることが必要です。「救急法救急員」の資格を取得するためには、No.20「スポーツ救急理論・実習Ⅰ」を履修し、試験に合格することが必要です。

※ アスレティックトレーナーの受験を希望する学生は、**卒業年次に日本スポーツ協会「共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」および「専門科目」の修了証明書の申請を必ず行ってください。**申請を行わない場合は、「アスレティックトレーナー」を受験することはできません。申請は、卒業年次のみには受け付けることができません。卒業後の申請は、いかなる理由であれ認められませんので、注意してください。申請には別途申請料を徴収します。

### (9) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会公認「初級障がい者スポーツ指導員」

初級障がい者スポーツ指導員とは、地域で活動する指導員で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツ導入を支援する者です。この資格を取得するためには、下記の表にある科目の単位を修得し、課外講座「障がい者スポーツ大会サポートボランティア養成講座」を受講した上で申請を行うことが必要です。

#### 《初級障がい者スポーツ指導員関係科目一覧》

No.	科目名	単位数
1	安全教育(学校安全を含む)	2
2	アダプテッド・スポーツ論	2
3	スポーツボランティア論・実習	2
	グローバルスポーツ演習	

※上記科目を修得する他、課外講座「障がい者スポーツ大会サポートボランティア養成講座」の受講した上で申請を行うことが必要です。

### (10) 一般社団法人全国体育スポーツ系大学協議会認定「スポーツトレーナー(JPSU-ST)」

一般社団法人全国体育スポーツ系大学協議会が認定するスポーツトレーナー(Japan Physical Education and Sport University - Sports Trainer, JPSU-ST)は、運動実践指導に長けた救急・予防対応ができる指導者です。この資格を取得するためには、下記の表にある科目の単位を修得し、卒業時まで有効期限がある一次救命処置(Basic Life Support, BLS)資格を取得し(証明書が必要です)、修了認定講習会の全ての講座を受講した上で修了認定講習会時に行われる論述試験に合格することが必要です。

#### 《スポーツトレーナー関係科目一覧》

No.	科目名	備考	単位数
1	スポーツ救急理論・実習Ⅰ		2
2	スポーツ心理学		2
3	機能解剖学Ⅰ		2
4	スポーツ栄養学Ⅰ		2
5	スポーツバイオメカニクス		2



6	健康教育学		2
	健康管理学		
7	スポーツ生理学		2
8	コーチング論		2
	コーチング概論		
	トレーナー概論		
9	体力トレーニング論		2
10	体づくり運動		1
11	器械運動		11～14から3領域 を選択し、各領域 から1（合計3）
	エアロビックダンス		
	ジョギング・ウォーキング		
	専門コーチング演習Ⅰ（子どもスポーツ）		
12	陸上競技		
	水泳・水中運動		
	スポーツ教材研究Ⅰ		
13	バスケットボール		
	サッカー		
	ラグビー		
	アメリカンフットボール		
	野球・ソフトボール		
	バレーボール		
	テニス		
	バドミントン		
	卓球		
	スポーツ教材研究Ⅱ		
	スポーツ教材研究Ⅲ		
専門コーチング演習Ⅱ（ボールゲーム）			
14	柔道		
	剣道		
	スポーツ教材研究Ⅳ	剣道または柔道	
	専門コーチング演習Ⅲ（武道）		
15	スポーツ外傷・障害と予防		2
16	トレーニング実習		1
17	健康産業施設等現場実習		1～4
	教育実習（高等学校）		
	教育実習（中学校）		
	アスレティックトレーナー実習Ⅰ（基礎）		
18	測定評価理論・実習		2
19	コンディショニング理論・実習Ⅰ（基礎）		2
	コンディショニング理論・実習Ⅱ（競技別）		

※上記科目の単位を修得する他、卒業時まで有効期限がある一次救命処置（BLS）資格の証明書と、修了認定講習会の全講座受講および論述試験合格が必要です。

## 21. 履修モデル

この履修モデルは、履修する科目の一例を示した「モデル」にすぎません。これらに示されている科目以外は履修できないというものでは決してありません。学生の皆さんは、これらの中から将来の進路希望に応じて1つを選び、それを基にして自分なりの履修モデルを作成し、希望実現のために体系的に勉強してください。

### 【全般的な注意事項】

#### ① 履修モデル以外の科目も履修する必要があります

履修モデルでは、1学年から4学年までの各学年にどのような科目を履修すればよいかを示しています。そこに示された科目を履修し、単位を取得すれば卒業に必要な124単位以上になるようになっています。しかし、これは希望する進路に進むために必要な最低限度の科目を示しているにすぎませんから、皆さんの関心や必要に応じて履修モデルに示されている科目以外の科目も積極的に履修してください。また、課外講座にも参加して、さまざまな知識を身につけてください。

#### ② 履修モデル通りの履修ができないときは変更することも可能です

履修できる人数の上限が決められている科目もありますし、必要な科目が同じ時間に開講されたりして、履修モデルが示している通りに履修できないことがあるかもしれません。そのような場合には、2学年で履修することとされている科目を3学年で履修するといったように、履修学年が前後しても構いません。

履修モデル（学びの分野）

スポーツ健康科学科

スポーツ教育

資格：中高教諭一種免許状（保健体育）

	1年次	2年次	3年次	4年次
基本	1年演習 情報基礎 I	2年演習	3年演習	4年演習
外国語	CE初級 I・II IT I・II	EC初級 I・II CE中級 I・II		
教養	教養科目群より16単位以上を履修すること			
キャリア	キャリア科目群より6単位以上を履修すること			
学部学科 必修	スポーツ健康科学概論 海浜実習	スポーツ救急理論・実習 I	スポーツリーダー実習	
専門基礎	I スポーツ哲学 スポーツ心理学 安全教育(学校安全を含む)	スポーツ社会学 スポーツ政策論 スポーツ人類学	スポーツ史 スポーツ教育学	
	II スポーツ医学 衛生・公衆衛生学 スポーツ栄養学 I	学校保健学 スポーツ生理学	精神保健学	
	III 発育発達老化の理論・実習 スポーツ運動学	体カトレーニング論	スポーツ技術・戦術論 アダプテッド・スポーツ論	
スポーツ 実技	I 器械運動 水泳・水中運動	陸上競技 体づくり運動		
	II バスケットボール サッカー	ラグビー		
	III バレーボール テニス	バドミントン		
	IV 柔道 剣道	ダンス		
専門発展	II 教育原理 教育社会学概論 教育心理学	教職特論演習 I 保健体育科教育法 I 学校教育現場実習	保健体育科教育法 II 教職特論演習 II 教職特論演習 III	
自由	教育史 教師論	教育相談 生徒指導論 スポーツ教材研究 I スポーツ教材研究 II 道徳教育論 特別活動論 教育課程論	教育方法学 介護入門(選択) 教育実習(事前) スポーツ教材研究 III スポーツ教材研究 IV	教職実践演習 教育実習(中学校) 教育実習(高等学校)

※CE, Comprehensive english; IT, Introduction to TOEIC; EC, English communication

※教職課程を希望する学生は、すべてのスポーツ実技科目を履修することが望ましい。

## 競技スポーツ（自然系・人文系の知見を融合した包括的アプローチ）

	1年次	2年次	3年次	4年次
基本	1年演習 情報基礎 I	2年演習	3年演習	4年演習
外国語	CE初級 I・II IT I・II	EC初級 I・II CE中級 I・II		
教養	教養科目群より16単位以上を履修すること			
キャリア	キャリア科目群より6単位以上を履修すること			
学部学科 必修	スポーツ健康科学概論 海浜実習	スポーツ救急理論・実習 I	スポーツリーダー実習	
専門基礎	I スポーツマネジメント論 スポーツ心理学 スポーツ哲学	スポーツ社会学 スポーツ政策論	スポーツ専門英語 スポーツ教育学	
	II スポーツ医学 スポーツ栄養学 I 機能解剖学 I	スポーツバイオメカニクス スポーツ生理学 健康教育学		
	III スポーツ運動学 発育発達老化の理論・実習	コーチング論 体カトレーニング論 メンタルトレーニング論	スポーツ情報・分析論 アダプテッド・スポーツ論 スポーツ技術・戦術論	
スポーツ 実技	I 体づくり運動 器械運動	陸上競技		
	II バスケットボール サッカー	ラグビー アメリカンフットボール		
	III バレーボール テニス	卓球 野球・ソフトボール		
	IV 新体操 柔道			
専門発展	II	リハビリテーション理論・実習 I (基礎) コンディショニング理論・実習 I (基礎) 測定評価理論・実習 スポーツと法	コーチング理論・実習 スポーツ外傷・障害と予防 トレーニング実習	
自由				

※CE, Comprehensive english; IT, Introduction to TOEIC; EC, English communication

※将来コーチや指導者を希望する学生は、すべてのスポーツ実技科目を履修することが望ましい

## 生涯スポーツ（エビデンスに基づく効率的な健康・体力の維持増進）

資格：健康運動指導士、健康運動実践指導者、トレーニング指導者資格

	1年次	2年次	3年次	4年次
基本	1年演習 情報基礎 I	2年演習	3年演習	4年演習
外国語	CE初級 I・II IT I・II	EC初級 I・II CE中級 I・II		
教養	教養科目群より16単位以上を履修すること			
キャリア	キャリア科目群より6単位以上を履修すること			
学部学科 必修	スポーツ健康科学概論 海浜実習	スポーツ救急理論・実習 I	スポーツリーダー実習	
専門基礎	I スポーツマネジメント論 スポーツ心理学 スポーツ哲学	スポーツ社会学 スポーツ政策論	スポーツ専門英語 スポーツ教育学	
	II スポーツ医学 スポーツ栄養学 I 機能解剖学 I	スポーツバイオメカニクス 健康教育学 スポーツ生理学		
	III スポーツ運動学 発育発達老化の理論・実習	コーチング論 体カトレーニング論	アダプテッド・スポーツ論	
スポーツ 実技	I 体づくり運動 器械運動	水泳・水中運動		
	II バスケットボール サッカー			
	III 卓球 野球・ソフトボール	バドミントン テニス		
	IV ダンス			
専門発展	II	健康づくりと運動プログラム コンディショニング理論・実習 I (基礎) ジョギング・ウォーキング 測定評価理論・実習 健康管理学	スポーツプロモーション論・実習 スポーツ救急理論・実習 II スポーツ外傷・障害と予防 トレーニング実習 健康産業施設等現場実習 ゴルフ実習	
自由		健康づくり施策論 運動負荷試験		

※CE, Comprehensive english; IT, Introduction to TOEIC; EC, English communication

## スポーツトレーナー（心身両面からアスリートを支える）

資格：アスレティックトレーナー、トレーニング指導者資格

	1年次	2年次	3年次	4年次
基本	1年演習 情報基礎 I	2年演習	3年演習	4年演習
外国語	CE初級 I・II IT I・II	EC初級 I・II EC中級 I・II		
教養	教養科目群より16単位以上を履修すること			
キャリア	キャリア科目群より6単位以上を履修すること			
学部学科 必修	スポーツ健康科学概論 海浜実習	スポーツ救急理論・実習 I	スポーツリーダー実習	
専門基礎	I スポーツ哲学 スポーツマネジメント論	スポーツ心理学 スポーツ人類学 スポーツ政策論	スポーツ専門英語 スポーツ教育学	
	II スポーツ医学 機能解剖学 I 衛生・公衆衛生学 スポーツ栄養学 I	スポーツバイオメカニクス スポーツ生理学		
	III スポーツ運動学	コーチング論 メンタルトレーニング論	体カトレーニング論 アダプテッド・スポーツ論 スポーツ情報戦略・分析論	
スポーツ 実技	I 体づくり運動 水泳・水中運動	器械運動		
	II 野球・ソフトボール サッカー			
	III テニス バドミントン			
	IV 剣道 新体操			
専門発展		トレーナー概論 コンディショニング理論・実習 I (基礎) リハビリテーション理論・実習 I (基礎) 健康管理学 スポーツ栄養学 II 健康教育学	スポーツ外傷・障害と予防 スポーツ救急理論・実習 II リハビリテーション理論・実習 II (応用) トレーニング実習 測定評価理論・実習	
自由		機能解剖学 II	機能評価理論・実習 アスレティックトレーナー実習 I (基礎) アスレティックトレーニング理論・実習 コンディショニング理論・実習 II	アスレティックトレーナー実習 II (応用) アスレティックトレーニング理論・実習

※CE, Comprehensive english; IT, Introduction to TOEIC; EC, English communication

## スポーツ教養（スポーツの文化的・社会的価値を幅広く学ぶ）

	1年次	2年次	3年次	4年次
基本	1年演習 情報基礎 I	2年演習	3年演習	4年演習
外国語	CE初級 I・II IT I・II	EC初級 I・II EC中級 I・II		
教養	教養科目群より16単位以上を履修すること			
キャリア	キャリア科目群より6単位以上を履修すること			
学部学科 必修	スポーツ健康科学概論 海浜実習	スポーツ救急理論・実習 I	スポーツリーダー実習	
専門基礎	I スポーツ心理学 スポーツ哲学	スポーツ社会学 スポーツ政策論 スポーツ人類学	スポーツ専門英語 スポーツ史	
	II スポーツ医学 スポーツ栄養学 I 衛生・公衆衛生学	スポーツバイオメカニクス 健康教育学 スポーツ生理学	精神保健学	
	III スポーツ運動学	コーチング論 体カトレーニング論	アダプテッドスポーツ論 スポーツ技術・戦術論 スポーツ情報戦略・分析論	
スポーツ 実技	I 体づくり運動 水泳・水中運動	陸上競技 器械運動		
	II アメリカンフットボール ラグビー			
	III 卓球 野球・ソフトボール			
	IV 新体操			
専門発展	II エアロビックダンス	スポーツボランティア論・実習 スポーツプロモーション論・実習 スポーツと法 スポーツと文化 ニュー・スポーツ実習 キャンプ実習	スポーツと情報処理 スポーツと政治 ゴルフ実習 スキー・スノーボード	スポーツと国際協力

※CE, Comprehensive english; IT, Introduction to TOEIC; EC, English communication

# スポーツコミュニケーション学科

## ①-1 履修モデル (一般企業)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要	
学部必修科目		1 年演習	2 年演習	3 年演習	4 年演習	16 単位	
		情報基礎 I				2 単位	
		スポーツ健康科学概論	海浜実習			4 単位	
学科必修科目		スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8 単位	
外国語		Comprehensive English 初級 I・II Introduction to TOEIC I・II	English Communication 初級 I・II			6 単位	
キャリア科目	キャリア形成	RKU 入門				6 単位以上	
		キャリアデザイン	キャリアマネジメント インターンシップ基礎	インターンシップ			
教養基礎科目	言葉や思想に関する領域	哲学 I 心理学 I				16 単位以上	
	社会や健康に関する領域		経済学 I 社会学 I				
	自然や環境に関する領域			地球科学 I 生命科学 I			
	歴史や文学に関する領域				文学 (日本文学) I 歴史学入門 (日本史) I		
学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論身体表現論 実践コミュニケーション英語 (Task-Based English)	フォロワーシップ論 スポーツ関連英語 (Englishin Action)	英語資格支援講座 (Lifelong English)		6 単位以上 2 単位以上	
		I スポーツ心理学スポーツ社会学	スポーツ哲学				
学部基礎科目	II		スポーツ栄養学 I	健康教育学 スポーツ生理学	精神保健学	20 単位以上	
	III	スポーツ運動学	体カトレーニング論	メンタルトレーニング論			
	I	体づくり運動 水泳・水中運動					2 単位以上
スポーツ実技科目	II		アメリカンフットボール ラグビー			2 単位以上	
	III			野球・ソフトボール テニス		2 単位以上	
	IV				ダンス	1 単位以上	
				対人関係論 マーケティング論 I	グローバル化と文化		
選択科目	専門発展科目	学際的な領域	情報学概論 I	通信ネットワーク概論		125 単位	
		マネジメント領域		スポーツマネジメント演習 スポーツと地域開発	スポーツマネジメント実習		プレビジネスプログラム II
		情報・メディア領域	スポーツ情報・メディア概論	スポーツ地域社会論	スポーツ・ジャーナリズム実習		
合計		42 単位	38 単位	30 単位	15 単位		

①-2履修モデル (教員)

			1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要	
学部必修科目			1 年演習	2 年演習	3 年演習	4 年演習	16 単位	
			情報基礎 I				2 単位	
			スポーツ健康科学概論	海浜実習			4 単位	
	学科必修科目		スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8 単位	
外国語			Comprehensive English 初級 I・II	English Communication 初級 I・II			6 単位	
			Introduction to TOEIC I・II					
選択必修科目	キャリア科目	キャリア形成	RKU 入門				6 単位以上	
				キャリアマネジメント		キャリアカウンセリング		
	教養基礎科目	言葉や思想に関する領域	心理学 I 教育学 I					16 単位以上
		社会や健康に関する領域		社会学 I 日本文化論 I				
		自然や環境に関する領域			自然地理学 I 生命科学 I			
		歴史や文学に関する領域				文学 (日本文学) I 歴史学入門 (日本史) I		
	学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論 身体表現論	省察的学習論 フォローシップ論				6 単位以上
			実践コミュニケーション英語 (Task-Based English)	スポーツ関連英語 (English in Action)				2 単位以上
	学部基礎科目	I	スポーツ教育学	スポーツ救急理論・実習 I				20 単位以上
		II		衛生・公衆衛生学 (運動衛生学を含む)	スポーツバイオメカニクス 学校保健学 スポーツ生理学 精神保健学			
		III	スポーツ運動学	体力トレーニング論	メンタルトレーニング論			
	スポーツ実技科目	I	体づくり運動 水泳	器械運動	陸上競技			2 単位以上
		II		サッカー	バスケットボール			2 単位以上
		III		バレーボール	野球・ソフトボール			2 単位以上
		IV			ダンス 柔道			1 単位以上
	専門発展科目	学際的な領域				障害者福祉論		
憲法 I								
マネジメント領域			スポーツマネジメント演習					
資格基礎科目			教育原理 教師論 教育社会学概論 教育心理学	教育相談 生徒指導論 保健体育科教育法 I 教育課程論 特別活動論	教育方法学 保健体育科教育法 II			
	自由科目	資格発展科目 教員免許発展科目	教育史	道徳教育論 体育授業理論実習 I 学校教育現場実習	介護入門 (選択) 教育実習 (事前指導) 体育授業理論実習 II 体育授業理論実習 III	教職実践演習 教育実習 (中学校) 教育実習 (高等学校)		
合計			44 単位 (自由科目 2 単位)	43 単位 (自由科目 6 単位)	29 単位 (自由科目 7 単位)	10 単位(自由科目 3~5 単位)	126 単位	

①－3履修モデル (消防士)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要		
学部必修科目		1 年演習	2 年演習	3 年演習	4 年演習	16 単位		
		情報基礎 I				2 単位		
		スポーツ健康科学概論	海浜実習			4 単位		
学科必修科目		スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8 単位		
外国語		Comprehensive English 初級 I・II	English Communication 初級 I・II			6 単位		
		Introduction to TOEIC I・II						
選択必修科目	キャリア科目	キャリア形成	RKU 入門			6 単位以上		
			社会・企業研究	災害ボランティア I・II	キャリアマネジメント			
	教養基礎科目	言葉や思想に関する領域	現代文章論 I				16 単位以上	
			メディア論 I					
		社会や健康に関する領域		法学 I 防災科学 I				
		自然や環境に関する領域			生態学 I 生命科学 I			
	歴史や文学に関する領域				歴史学入門 (東洋史) I 歴史学入門 (日本史) I			
	学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論	省察的学習論 フォロワーシップ論			6 単位以上	
			実践コミュニケーション英語	スポーツ関連英語	英語資格支援講座		2 単位以上	
	学部基礎科目	I	スポーツ心理学 スポーツ社会学 スポーツ政策論	スポーツ救急理論・実習 I 安全教育 (学校安全を含む)			20 単位以上	
		II		衛生・公衆衛生学 (運動衛生学を含む)	健康教育学	精神保健学		
		III		体カトレーニング論	発育発達老化の理論・実習			
	スポーツ実技科目	I	体づくり運動 陸上競技				2 単位以上	
			II		バスケットボール サッカー		2 単位以上	
			III			野球・ソフトボール バレーボール		2 単位以上
			IV				柔道	1 単位以上
選択科目	専門発展科目	学際的な領域		グローバル化と文化 開発社会学	障害者福祉論 対人関係論 地域社会学			
				人的資源管理論 I・II				
					情報応用システム論			
				憲法 I				
マネジメント領域	スポーツマネジメント概論	スポーツと地域開発	スポーツマネジメント実習					
	情報・メディア領域	スポーツ情報・メディア概論	スポーツ地域社会学		プレビジネスプログラム II			
自由科目	資格発展科目			スポーツ救急理論・実習 II				
合計		42 単位	42 単位	24 単位 (自由科目 2 単位)	19 単位	127 単位		



①-4 履修モデル (警察官)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要	
学部必修科目	学部必修科目	1 年演習	2 年演習	3 年演習	4 年演習	16 単位	
		情報基礎 I				2 単位	
		スポーツ健康科学概論	海浜実習			4 単位	
	学部必修科目	スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8 単位	
外国語	ComprehensiveEnglish 初級 I・II	EnglishCommunication 初級 I・II			6 単位		
	Introduction to TOEIC I・II						
選択必修科目	キャリア科目	キャリア形成	RKU 入門 キャリアデザイン	キャリアマネジメント		6 単位以上	
		教養基礎科目	言葉や思想に関する領域	哲学 I 心理学 I			
	社会や健康に関する領域			法学 I 社会倫理学 I	現代女性論 I 日本文化論 I		
	自然や環境に関する領域					生命科学 I	
	歴史や文学に関する領域					民俗学 I	
	学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論	省察的学習論 フォロワーシップ論			6 単位以上
			実践コミュニケーション英語 (Task-Based English)				2 単位以上
	学部基礎科目	I	スポーツ教育学 スポーツ社会学	スポーツ救急理論・実習 I 安全教育 (学校安全を含む)			20 単位以上
		II		衛生・公衆衛生学 (運動衛生学を含む)	健康教育学	精神保健学	
		III	スポーツ運動学	体力トレーニング論	発育発達老化の理論・実習		
	スポーツ実技科目	I	体づくり運動 水泳・水中運動				2 単位以上
		II		バスケットボール サッカー			2 単位以上
		III			野球・ソフトボール バレーボール		2 単位以上
		IV				柔道剣道	1 単位以上
	専門発展科目	学際的な領域		対人関係論	地域社会学		
			情報学概論 I・II	通信ネットワーク概論			
			憲法 I・II				
マネジメント領域		スポーツマネジメント概論	スポーツと地域開発 スポーツと国際協力		プレビジネスプログラム II		
資格発展科目			スポーツ救急理論・実習 II				
合計		42 単位	42 単位	20 単位	14 単位	118 単位	

①-5履修モデル (自衛官)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要		
学部必修科目		1 年演習	2 年演習	3 年演習	4 年演習	16 単位		
		情報基礎 I				2 単位		
		スポーツ健康科学概論	海浜実習			4 単位		
		学科必修科目	スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8 単位	
外国語		ComprehensiveEnglish 初級 I・II	EnglishCommunication 初級 I・II			6 単位		
		Introduction toTOEIC I・II						
選択必修科目	キャリア科目	キャリア形成	RKU 入門				6 単位以上	
			キャリアデザイン	キャリアマネジメント				
	教養基礎科目		言葉や思想に関する領域	現代文章論 I 心理学 I				16 単位以上
			社会や健康に関する領域		法学 I 外国文化論 (アジア) I	外国文化論 (西欧) I		
			自然や環境に関する領域			地球科学 I	生命科学 I	
			歴史や文学に関する領域				歴史学入門 (日本史) I 歴史学入門 (東洋史) I	
	学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論	省察的学習論 フォローアップ論			6 単位以上	
			実践コミュニケーション英語 (Task-BasedEnglish)	スポーツ関連英語 (EnglishinAction)			2 単位以上	
	学部基礎科目	I II III	スポーツ心理学 スポーツ社会学 スポーツ教育学	スポーツ救急理論・実習 I 安全教育 (学校安全を含む)			20 単位以上	
				衛生・公衆衛生学 (運動衛生学を含む) スポーツ医学	健康教育学	精神保健学		
			スポーツ運動学	体カトレーニング論				
	スポーツ実技科目	I II III IV	陸上競技 水泳・水中運動				2 単位以上	
				アメリカンフットボール ラグビー			2 単位以上	
					野球・ソフトボール バレーボール		2 単位以上	
					柔道剣道	1 単位以上		
選択科目	専門発展科目	学際的な領域		グローバル化と文化	地域社会学 開発社会学	国際社会学		
			情報学概論 I	通信ネットワーク概論				
				憲法 I				
	マネジメント領域	スポーツマネジメント論	スポーツと国際協力					
資格発展科目				スポーツ救急理論・実習 II				
合計		42 単位	42 単位	20 単位	16 単位	120 単位		

②-1 履修モデル (コーチ、指導者)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要	
学部必修科目	学部必修科目	1年演習	2年演習	3年演習	4年演習	16単位	
		情報基礎 I				2単位	
	学科必修科目	スポーツ健康科学概論	海浜実習			4単位	
		スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8単位	
外国語	ComprehensiveEnglish 初級 I・II	EnglishCommunication 初級 I・II			6単位		
	Introduction toTOEIC I・II						
選択必修科目	キャリア科目	キャリア形成 RKU 入門	RKU 実践	海外研修		6単位以上	
	教養基礎科目	言葉や思想に関する領域		心理学 I・II 宗教学 I・II		16単位以上	
		社会や健康に関する領域			外国文化論 (アジア) I・II 外国文化論 (西欧) I・II		
	学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論 身体表現論 実践コミュニケーション英語 (Task-BasedEnglish)	省察的学習論 フォローシップ論 スポーツ関連英語 (EnglishinAction)			6単位以上 2単位以上
		学部基礎科目	I	スポーツ心理学 スポーツ社会学 スポーツ政策論	スポーツ哲学 安全教育 (学校安全を含む)	スポーツ史 衛生・公衆衛生学 (運動衛生学を含む)	
	II			スポーツ医学機能解剖学 I	スポーツ生理学		
	III			体カトレーニング論 メンタルトレーニング論	発育発達老化の理論・実習 アダプテッド・スポーツ論		
	スポーツ実技科目	I	体づくり運動水泳・水中運動				2単位以上
		II	サッカーラグビー				2単位以上
		III	テニス卓球				2単位以上
		IV	剣道				1単位以上
	選択科目	専門発展科目	学際的な領域	対人関係論	グローバル化と文化	プレビジネスプログラム II	
			マネジメント領域	スポーツマネジメント概論	スポーツマネジメント演習 スポーツと地域開発 スポーツと国際協力		
情報・メディア領域			スポーツ情報・メディア概論	ジャーナリズム論・演習 スポーツ情報戦略・分析論			
コーチング領域			コーチング概論	コーチング演習			
資格発展科目		トレーニング指導者、健康運動指導士、健康運動実践指導者		スポーツ外傷・障害と予防 トレーニング実習 コンディショニング理論・実習 I			
合計		43 単位	44 単位	28 単位 (自由科目 6 単位)	14 単位	129 単位	

②-2履修モデル (事務・広報担当)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要	
学部必修科目	学術必修科目	1年演習	2年演習	3年演習	4年演習	16単位	
		情報基礎 I				2単位	
		スポーツ健康科学概論	海浜実習			4単位	
	学科必修科目	スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8単位	
外国語	Comprehensive English 初級 I・II	English Communication 初級 I・II			6単位		
	Introduction to TOEIC I・II						
選択必修科目	キャリア科目	キャリア形成 RKU 入門	RKU 実践	インターンシップ(海外)		6単位以上	
	教養基礎科目	言葉や思想に関する領域			現代文章論 I・II		16単位以上
		社会や健康に関する領域			外国文化論 (西欧) I 外国文化論 (アジア) I	社会学 I 経済学 I	
		自然や環境に関する領域			自然環境論 I		
		歴史や文学に関する領域			歴史学入門 (西洋史) I		
	学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論 身体表現論 実践コミュニケーション英語 (Task-Based English)	省察的学習論 フォロワーシップ論 スポーツ関連英語 (English in Action)			6単位以上 2単位以上
		学部基礎科目	I	スポーツ心理学 スポーツ社会学 スポーツ政策論	スポーツ救急理論・実習 I	スポーツ哲学	
	II			スポーツ史安全教育 (学校安全を含む) スポーツ生理学 スポーツ人類学	衛生・公衆衛生学 (運動衛生学を含む)		
	スポーツ実技科目	I	体づくり運動 水泳・水中運動				2単位以上
		II	ラグビー アメリカンフットボール				2単位以上
		III	バドミントン 卓球				2単位以上
		IV	剣道				1単位以上
	選択科目	専門発展科目	学際的な領域	情報学概論 I	通信ネットワーク概論	グローバル化と文化 対人関係論	
			マネジメント領域	スポーツマネジメント概論	スポーツマネジメント演習 スポーツと地域開発	スポーツマネジメント実習	
情報・メディア領域			スポーツ情報・メディア概論	ジャーナリズム論・演習 スポーツ情報戦略・分析論	スポーツ・ジャーナリズム実習	プレビジネスプログラム II	
コーチング領域				コーチング演習			
外国語選択科目				English Communication I・II			
合計		43 単位	40 単位	24 単位	10 単位	117 単位	

②-3履修モデル (チームアナリスト)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要	
学部必修科目	1 年演習		2 年演習	3 年演習	4 年演習	16 単位	
	情報基礎 I					2 単位	
	スポーツ健康科学概論		海浜実習			4 単位	
	学科必修科目	スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8 単位	
外国語	Comprehensive English 初級 I・II	English Communication 初級 I・II				6 単位	
	Introduction to TOEIC I・II						
選択必修科目	キャリア科目	キャリア科目	RKU 入門	RKU 実践	海外研修	6 単位以上	
	教養基礎科目	教養基礎科目	教育学 I		心理学 I・II 言語論 I 現代文章論 I		16 単位以上
		自然や環境に関する領域			外国文化論 (西欧) I		
		歴史や文学に関する領域			数学 I		
	学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論 実践コミュニケーション英語 (Task-Based English)	省察的学習論 フォローアップ論	スポーツ関連英語 (English in Action)	英語資格支援講座 (Lifelong English)	6 単位以上 2 単位以上
		学部基礎科目	I		スポーツ救急理論・実習 I		20 単位以上
	II			スポーツ医学 機能解剖学 I	スポーツバイオメカニクス スポーツ生理学 スポーツ栄養学 I		
	III		スポーツ運動学 スポーツ技術・戦術論	体カトレーニング論 メンタルトレーニング論			
	スポーツ実技科目	I			器械運動 陸上競技		2 単位以上
		II			バスケットボール サッカー		2 単位以上
		III			野球・ソフトボール バレーボール		2 単位以上
		IV			柔道		1 単位以上
	選択科目	専門発展科目	学際的な領域	社会調査法 情報学概論 I・II	通信ネットワーク概論 情報応用システム論		プレビジネスプログラム II
			マネジメント領域	スポーツマネジメント概論	スポーツマネジメント演習		
情報・メディア領域			スポーツ情報・メディア概論	スポーツ情報戦略・分析論	スポーツ・インテリジェンス実習		
コーチング領域		コーチング概論	コーチング演習 競技別コーチング演習 I (子どもスポーツ) 競技別コーチング演習 II (ボールゲーム) 競技別コーチング演習 III (武道)				
資格発展科目		トレーニング指導者、健康運動指導士、健康運動実践指導者			測定評価理論・実習		
合計		40 単位	44 単位	39 単位 (自由科目 2 単位)	6 単位	129 単位	

②-4 履修モデル (事務・総務担当)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要	
学部必修科目	学部必修科目	1 年演習	2 年演習	3 年演習	4 年演習	16 単位	
		情報基礎 I				2 単位	
	スポーツ健康科学概論	海浜実習			4 単位		
	学科必修科目	スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8 単位	
外国語	Comprehensive English 初級 I・II	English Communication 初級 I・II			6 単位		
	Introduction to TOEIC I・II						
選択必修科目	リア	キャリア形成	RKU 入門	RKU 実践	海外研修	6 単位以上	
		言葉や思想に関する領域			心理学 I・II	宗教学 I・II	16 単位以上
		社会や健康に関する領域			外国文化論 (西欧) I・II 外国文化論 (アジア) I・II		
	学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論	省察的学習論 フォロワーシップ論			6 単位以上
			実践コミュニケーション英語 (Task-Based English)	スポーツ関連英語 (English in Action)	英語資格支援講座 (Lifelong English)		2 単位以上
	学部基礎科目	I	スポーツ心理学 スポーツ社会学 スポーツ政策論	スポーツ救急理論・実習 I			20 単位以上
		II		スポーツ史安全教育 (学校安全を含む) スポーツ生理学 スポーツ人類学	衛生・公衆衛生学 (運動衛生学を含む) スポーツ哲学		
	スポーツ実技科目	I	体づくり運動 水泳・水中運動				2 単位以上
		II	ラグビー アメリカンフットボール				2 単位以上
		III	バドミントン 卓球				2 単位以上
		IV	剣道				1 単位以上
	選択科目	専門発展科目	学際的な領域	経営学総論 I	対人関係論 人的資源管理論 I	グローバル化と文化 社会心理学	プレビジネスプログラム II
			マネジメント領域	スポーツマネジメント概論	スポーツマネジメント演習 スポーツと地域開発 スポーツと国際協力	スポーツマネジメント実習	
			情報・メディア領域	スポーツ情報・メディア概論	スポーツ表象論 スポーツ地域社会論		
			コーチング領域		コーチング演習		
		外国語選択科目			English Communication I・II		
合計		43 単位	44 単位	24 単位	8 単位	119 単位	

③-1 履修モデル (イベント関係)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要	
学部必修科目	学部必修科目	1 年演習	2 年演習	3 年演習	4 年演習	16 単位	
		情報基礎 I				2 単位	
		スポーツ健康科学概論	海浜実習			4 単位	
	学科必修科目	スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8 単位	
外国語	Comprehensive English 初級 I・II Introduction to TOEIC I・II	English Communication 初級 I・II				6 単位	
選択必修科目	キャリア科目	キャリア形成 社会・ 企業研究	RKU 入門	RKU 実践		6 単位以上	
		教養 基礎科目	言葉や思想に 関する領域		インターンシップ基礎	インターンシップ	
	社会や健康に 関する領域			経済学 I・II			
	自然や環境に 関する領域					数学 I・II	
	歴史や文学に 関する領域			民俗学 I・II			
	学科基礎 科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論	省察的学習論 フォローアップ論			6 単位以上
			実践コミュニケーション英語 (Task-Based English)	スポーツ関連英語 (English in Action)			2 単位以上
	学部基礎 科目	I II III	スポーツ心理学 スポーツ政策論	スポーツ救急理論・実習 I スポーツ人類学	スポーツ史		20 単位以上
					健康教育学 スポーツ生理学		
			スポーツ運動学		発育発達老化の理論・実習 アダプテッド・スポーツ論		
	スポーツ 実技科目	I II III IV	体づくり運動 水泳・水中運動				2 単位以上
			バスケットボール ラグビー				2 単位以上
			野球・ソフトボール 卓球				2 単位以上
			剣道				1 単位以上
	選択 科目	専門発展 科目	学際的な領域	社会調査法			
				経営学総論 I	人的資源管理論 I	マーケティング論 I・II	
マネジメント 領域			スポーツマネジメント概論	スポーツマネジメント演習 スポーツと地域開発 スポーツと国際協力	スポーツマネジメント実習	プレビジネスプログラム II	
情報・ メディア領域			スポーツ情報・メディア概論	ジャーナリズム論・演習			
合計		43 単位	42 単位	28 単位	10 単位	123 単位	

③-2履修モデル（メディア関係）

		1学年	2学年	3学年	4学年	摘要	
学部必修科目	学部必修科目	1年演習	2年演習	3年演習	4年演習	16単位	
		情報基礎 I				2単位	
		スポーツ健康科学概論	海浜実習			4単位	
	学科必修科目	スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8単位	
外国語	ComprehensiveEnglish 初級 I・II	EnglishCommunication 初級 I・II			6単位		
	Introduction toTOEIC I・II						
選択必修科目	キャリア科目	キャリア形成 社会・ 企業研究	RKU 入門	RKU 実践		6単位以上	
		教養基礎科目	言葉や思想に関する領域		インターンシップ基礎	インターンシップ	
	社会や健康に関する領域				現代文章論 I・II		
	自然や環境に関する領域				社会倫理学 I・II	自然地理学 I・II	
	歴史や文学に関する領域				民俗学 I・II		
	学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論 実践コミュニケーション英語 (Task-BasedEnglish)	省察的学習論 スポーツ関連英語 (EnglishinAction)			6単位以上 2単位以上
		学部基礎科目	I	スポーツ社会学 スポーツ政策論	スポーツ哲学 スポーツ人類学	スポーツ史	20単位以上
	II			スポーツ栄養学 I	健康教育学 スポーツ生理学		
	III				発育発達老化の理論・実習 アダプテッド・スポーツ論		
	スポーツ実技科目	I	体づくり運動 水泳・水中運動				2単位以上
			II	バスケットボールラグビー			2単位以上
			III			野球・ソフトボール 卓球	2単位以上
			IV				剣道
	選択科目	専門発展科目	学際的な領域	社会調査法	地域社会学	国際社会学	
情報学概論 I・II							
マネジメント領域			スポーツマネジメント概論	スポーツマネジメント演習 スポーツと地域開発 スポーツと国際協力		プレビジネスプログラム II	
情報・メディア領域			スポーツ情報・メディア概論	ジャーナリズム論・演習 スポーツ情報戦略・分析論	スポーツ・ジャーナリズム実習		
合計		40 単位	38 単位	36 単位	11 単位	125 単位	



③-3履修モデル (スポーツ用品)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要
学部必修科目	学部必修科目	1年演習	2年演習	3年演習	4年演習	16単位
		情報基礎 I				2単位
	学科必修科目	スポーツ健康科学概論	海浜実習			4単位
		スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8単位
外国語	ComprehensiveEnglish 初級 I・II	EnglishCommunication 初級 I・II			6単位	
	Introduction toTOEIC I・II					
選択必修科目	キャリア科目	キャリア形成	RKU 入門	RKU 実践		6単位以上
		社会・企業研究		インターンシップ基礎	インターンシップ	
	教養基礎科目	言葉や思想に関する領域			心理学 I・II	16単位以上
		社会や健康に関する領域		経済学 I・II		
		自然や環境に関する領域	数学 I・II			
	歴史や文学に関する領域	歴史学入門 (西洋史) I・II				6単位以上
		コミュニケーション論 身体表現論	コミュニケーション英語 実践コミュニケーション英語 (Task-BasedEnglish)	スポーツ関連英語 (EnglishinAction)	英語資格支援講座 (LifelongEnglish)	
	学科基礎科目	コミュニケーション領域				2単位以上
	学部基礎科目	I	スポーツ政策論	スポーツ救急理論・実習 I	スポーツ史	20単位以上
		II		スポーツ医学 スポーツ栄養学 I	スポーツバイオメカニクス スポーツ生理学	
		III		体力トレーニング論	発育発達老化の理論・実習 アダプテッド・スポーツ論	
	スポーツ実技科目	I	陸上競技	水泳・水中運動		2単位以上
		II		バスケットボール	アメリカンフットボール	2単位以上
		III			野球・ソフトボール テニス	2単位以上
		IV			剣道	1単位以上
	選択科目	専門発展科目	学際的な領域	社会調査法		
経営学総論 I					マーケティング論 I・II	
情報・メディア領域 コーチング領域			スポーツマネジメント演習 スポーツと地域開発 スポーツと国際協力	スポーツマネジメント実習	プレビジネスプログラム II	
		コーチング概論	コーチング演習			
合計		43 単位	40 単位	34 単位	7 単位	124 単位

④－1 履修モデル（国際競技スポーツ）

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要	
学部必修科目	学部必修科目	1年演習	2年演習	3年演習	4年演習	16単位	
		情報基礎 I				2単位	
		スポーツ健康科学概論	海浜実習			4単位	
	学科必修科目	スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8単位	
外国語	ComprehensiveEnglish 初級 I・II	EnglishCommunication 初級 I・II			6単位		
	Introduction toTOEIC I・II						
選択必修科目	キャリア科目	キャリア形成 社会・ 企業研究	RKU 入門	RKU 実践		6単位以上	
		インターンシップ (海外)					
	教養基礎科目	言葉や思想に関する領域			心理学 I・II		16単位以上
		社会や健康に関する領域			法学 I・II		
		自然や環境に関する領域				地球科学 I・II	
		歴史や文学に関する領域	歴史学入門 (西洋史) I・II				
	学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論 身体表現論 実践コミュニケーション英語 (Task-BasedEnglish)	省察的学習論			6単位以上
				スポーツ関連英語 (EnglishinAction)	英語資格支援講座 (LifelongEnglish)		2単位以上
	学部基礎科目	I	スポーツ心理学スポーツ政策論	スポーツ救急理論・実習 I スポーツ哲学 スポーツ人類学	スポーツ史		20単位以上
		II		スポーツ医学機能解剖学 I スポーツ栄養学 I	スポーツバイオメカニクス スポーツ生理学		
		III	スポーツ運動学 スポーツ技術・戦術論	体カトレーニング論	メンタルトレーニング論		
	スポーツ実技科目	I	陸上競技 水泳・水中運動				2単位以上
		II		バスケットボール ラグビー			2単位以上
		III			野球・ソフトボール テニス		2単位以上
		IV			ダンス		1単位以上
		マネジメント領域		スポーツマネジメント演習 スポーツと国際協力			
	スポーツ情報・メディア概論		スポーツ情報戦略・分析論				
	コーチング概論		コーチング演習 専門コーチング演習 (1科目)	コーチング実習			
合計		44 単位	42 単位	29 単位	8 単位	123 単位	

④-2 履修モデル (国際開発協力)

		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	摘要	
学部必修科目	学部必修科目	1 年演習	2 年演習	3 年演習	4 年演習	16 単位	
		情報基礎 I				2 単位	
	学科必修科目	スポーツ健康科学概論	海浜実習			4 単位	
		スポーツコミュニケーション概論 スポーツコミュニケーション実習 (アドベンチャープログラム)	グローバルスポーツ演習	プレビジネスプログラム I		8 単位	
外国語	Comprehensive English 初級 I・II Introduction to TOEIC I・II	English Communication 初級 I・II				6 単位	
選択必修科目	キャリア科目	キャリア形成	RKU 入門	RKU 実践		6 単位以上	
			インターンシップ (海外)				
	教養基礎科目	言葉や思想に関する領域				宗教学 I・II	16 単位以上
		社会や健康に関する領域	社会学 I・II		法学 I・II		
		自然や環境に関する領域				地球科学 I・II	
		歴史や文学に関する領域				歴史学入門 (東洋史) I・II	
	学科基礎科目	コミュニケーション領域	コミュニケーション論	省察的学習論 フォローシップ論			6 単位以上
			実践コミュニケーション英語 (Task-Based English)	スポーツ関連英語 (English in Action)	英語資格支援講座 (Lifelong English)		2 単位以上
	学部基礎科目	I II III	スポーツ社会学 スポーツ政策論	スポーツ救急理論・実習 I スポーツ人類学 安全教育 (学校安全を含む)			20 単位以上
				スポーツ医学 衛生・公衆衛生学 (運動衛生学を含む)	健康教育学 スポーツ生理学		
			スポーツ運動学		発育発達老化の理論・実習		
	スポーツ実技科目	I II III IV	陸上競技 水泳・水中運動				2 単位以上
				バスケットボール ラグビー			2 単位以上
					野球・ソフトボール バレーボール		2 単位以上
						柔道	1 単位以上
	選択科目	専門発展科目	学際的な領域	社会調査法	地域社会学	国際社会学 開発社会学	
				経営学総論 I			
			スポーツマネジメント概論	スポーツマネジメント演習 スポーツと地域 スポーツと国際協力	スポーツマネジメント実習		
			コーチング領域	コーチング概論	コーチング演習		
合計		44 単位	40 単位	26 単位	17 単位	127 単位	



2021年（令和3年）4月発行

スポーツ健康科学部

# 履修要綱

流通経済大学

**RKU**

---

<http://www.rku.ac.jp/>